

第 42 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和 3 年 3 月 31 日（水）16 時 00 分～

場所：大阪府新別館南館 8 階 大研修室

次 第

議 題

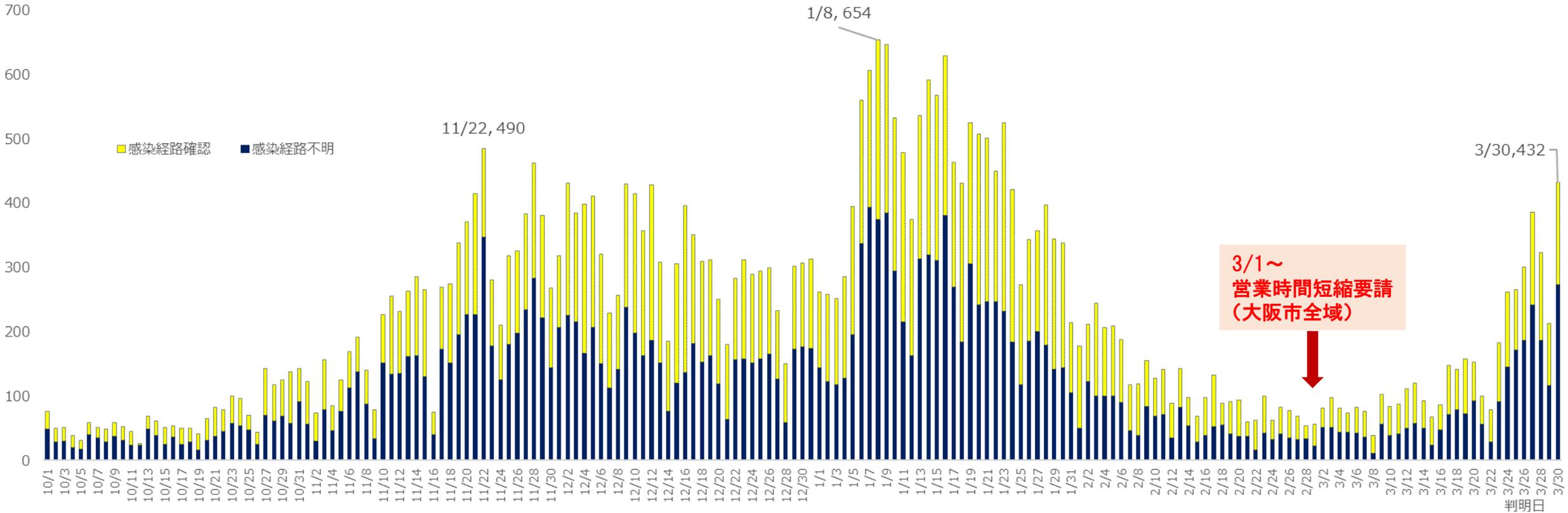
(1) 現在の感染状況・療養状況等

- ・現在の感染状況について【資料 1 - 1】
- ・変異株の発生状況について【資料 1 - 2】
- ・現在の療養状況について【資料 1 - 3】
- ・療養者数のシミュレーションについて【資料 1 - 4】
- ・感染状況と医療提供体制の状況について【資料 1 - 5】
- ・滞在人口の推移【資料 1 - 6】

(2) まん延防止等重点措置に関する国への要請について

- ・まん延防止等重点措置に関する国への要請について【資料 2 - 1】
- ・専門家のご意見【資料 2 - 2】

陽性者数の推移



10月10日
Go To Eat Osaka 食事券引換開始
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など

11月1日
入国制限緩和

11月12日～11月28日
「静かに飲食」「マスクの徹底」の要請等
11月21日～ イエローステージ2移行
5人以上、2時間以上の宴会・飲み会自粛
高齢者・基礎疾患のある方等の不要不急の
外出自粛要請等（～12月5日）

11月24日～
大阪市を目的地とする旅行のロフトホテル
の適用一時停止
11月27日～
大阪府を目的地とする旅行のロフトホテルの
利用自粛要請
11月27日～
赤信号点灯（医療非常事態宣言）
大阪府に居住する方へのロフトホテルの利用
自粛要請
11月27日～
ポイントや食事券の利用自粛要請、食事券の
新規発行の一時停止
11月27日～12月15日
大阪府北区・中央区への時短要請等

12月3日
赤信号点灯（医療非常事態宣言）
大阪府に居住する方へのロフトホテルの利用
自粛要請
12月3日～
赤信号点灯（医療非常事態宣言）
大阪府に居住する方へのロフトホテルの利用
自粛要請
12月3日～
赤信号点灯（医療非常事態宣言）
大阪府に居住する方へのロフトホテルの利用
自粛要請

12月16日～1月13日
大阪府への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域への時短要請等
12月4日～
レッドステージ1移行
府民へへのできる限り不要不急の外出自粛要請
（～12月15日）

1月9日
緊急事態宣言発出要請
1月14日～2月28日
緊急事態措置
レッドステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
1月9日
緊急事態宣言発出要請

2月23日
緊急事態宣言解除要請
3月1日～
緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会伴う花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（～21日）
首都圏への往来自粛要請（22日～）等

21時

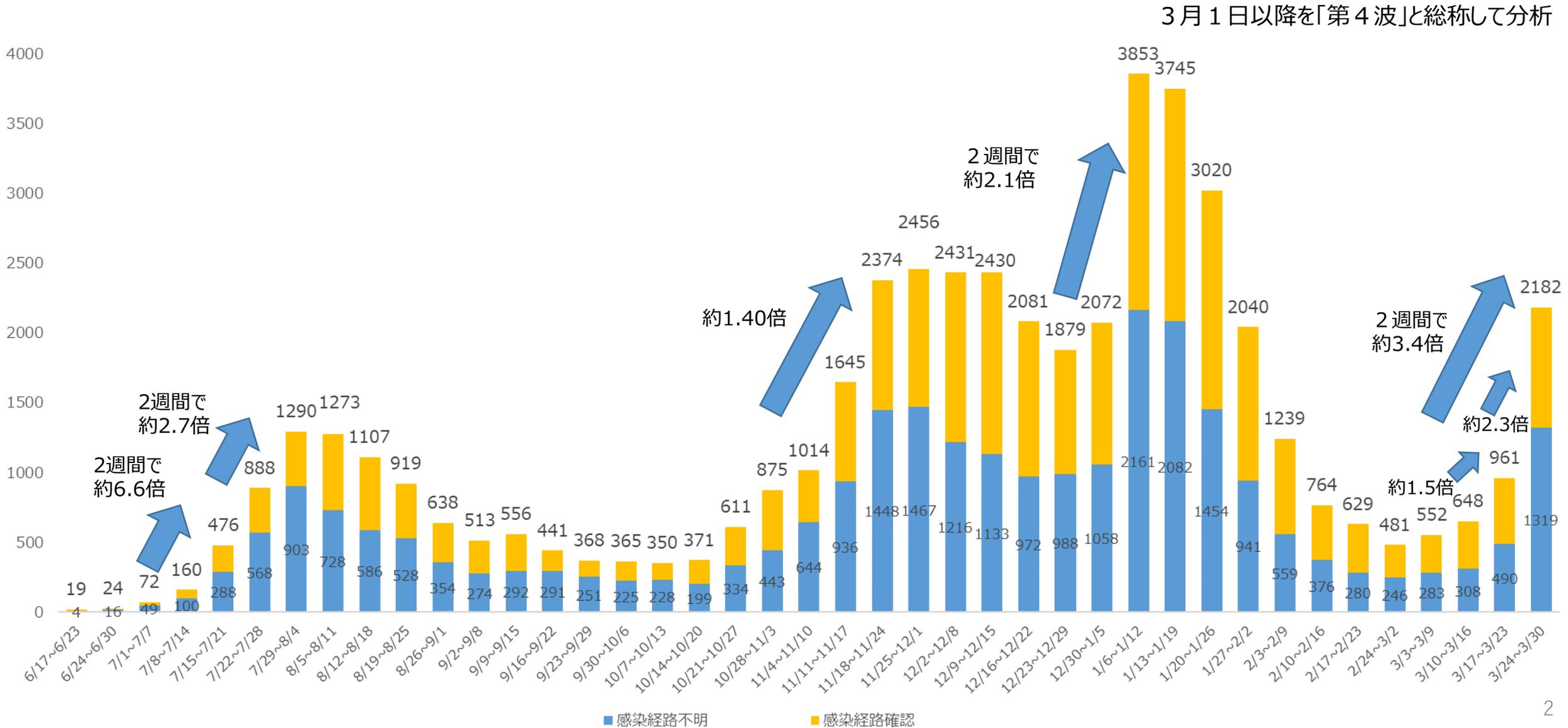
21時

20時

21時

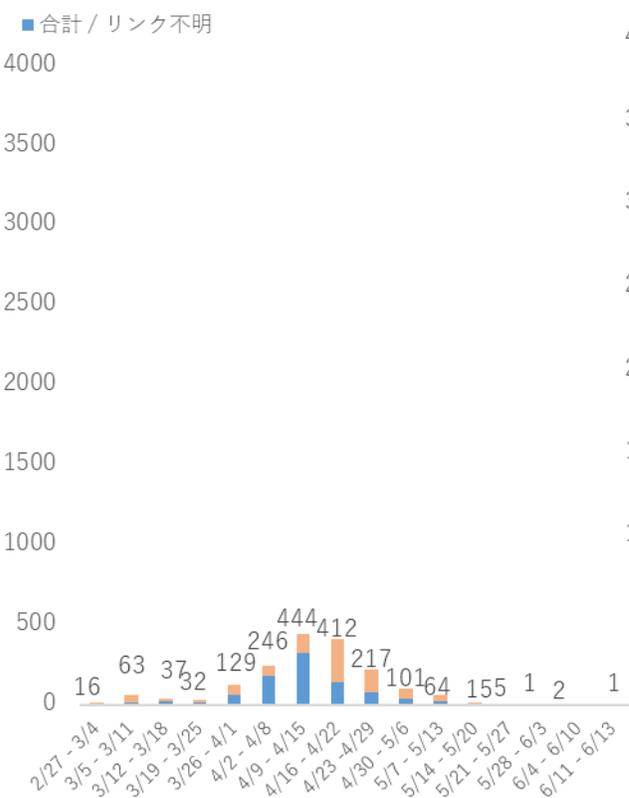
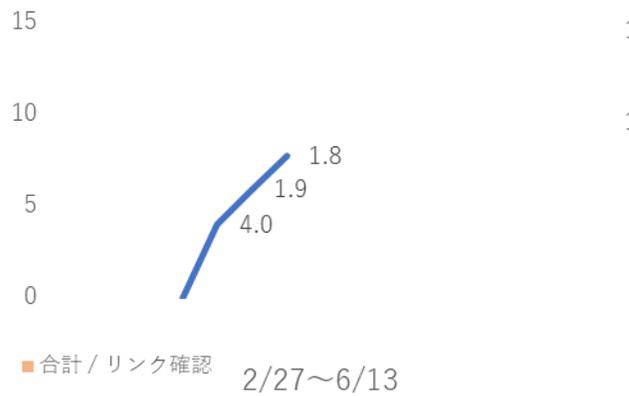
7日間毎の新規陽性者数

第4波は、直近2週間で約3.4倍増加し、第三波を大きく上回る速度で感染が急拡大している。
 (直近1週間の新規陽性者数一日平均約312名)

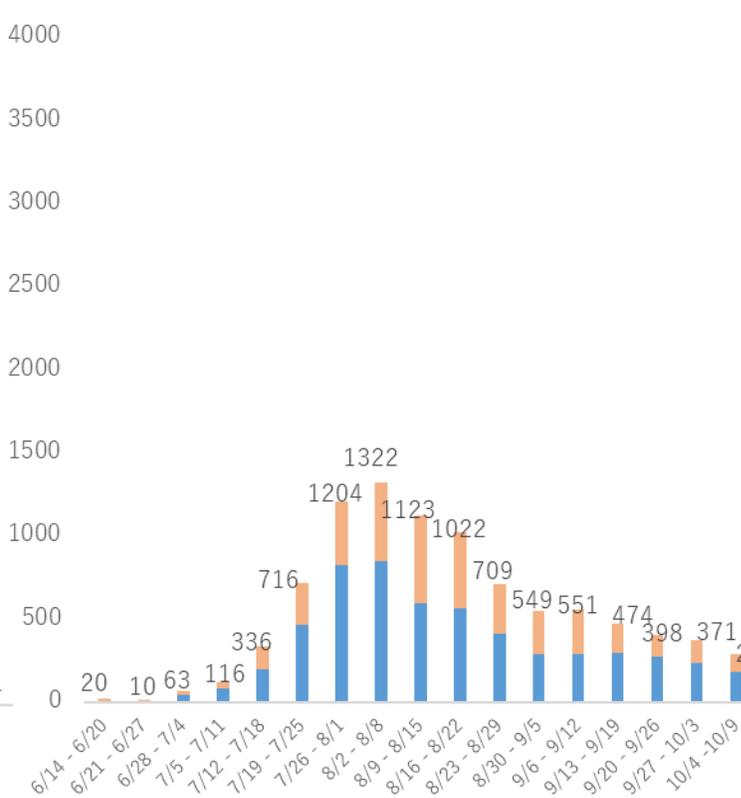
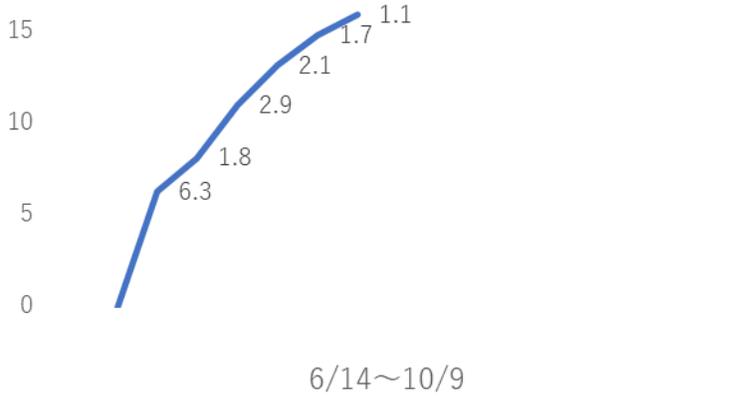


7日間陽性者数の推移と陽性者数増加時の前週増加比（3月28日時点）

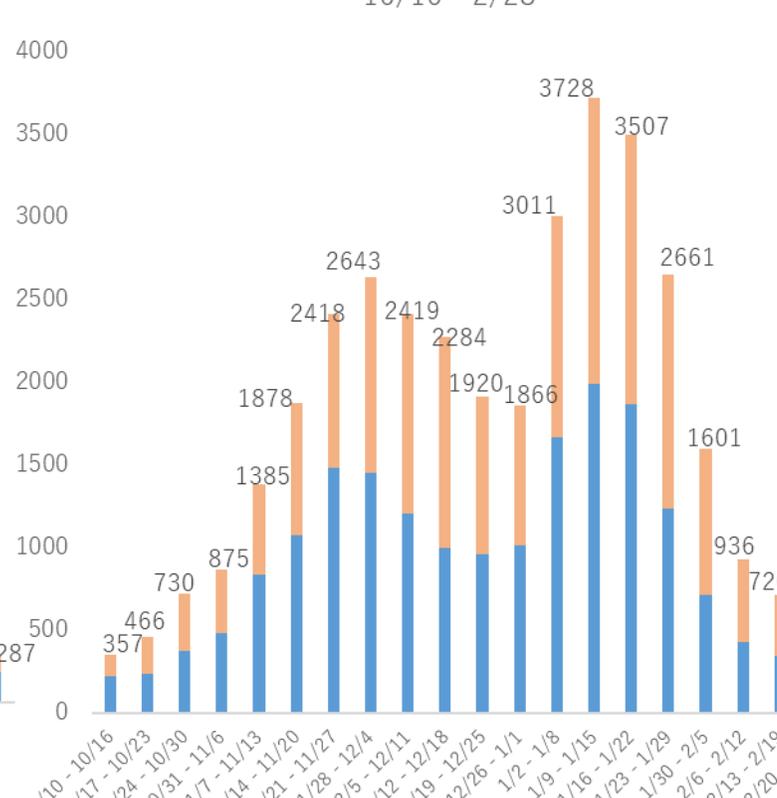
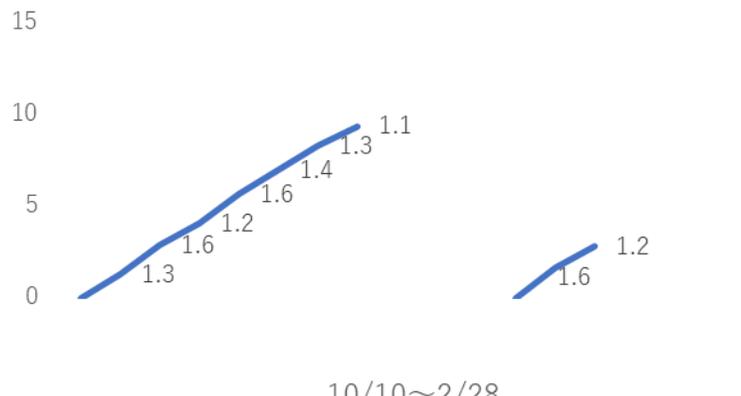
第一波



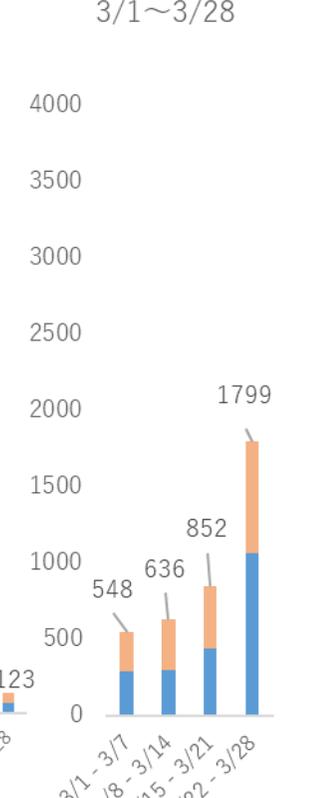
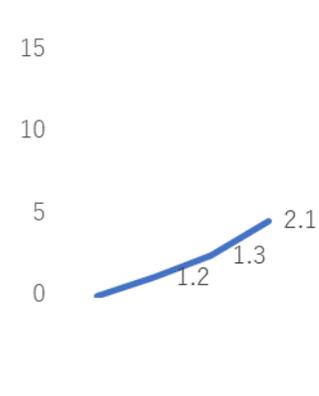
第二波



第三波



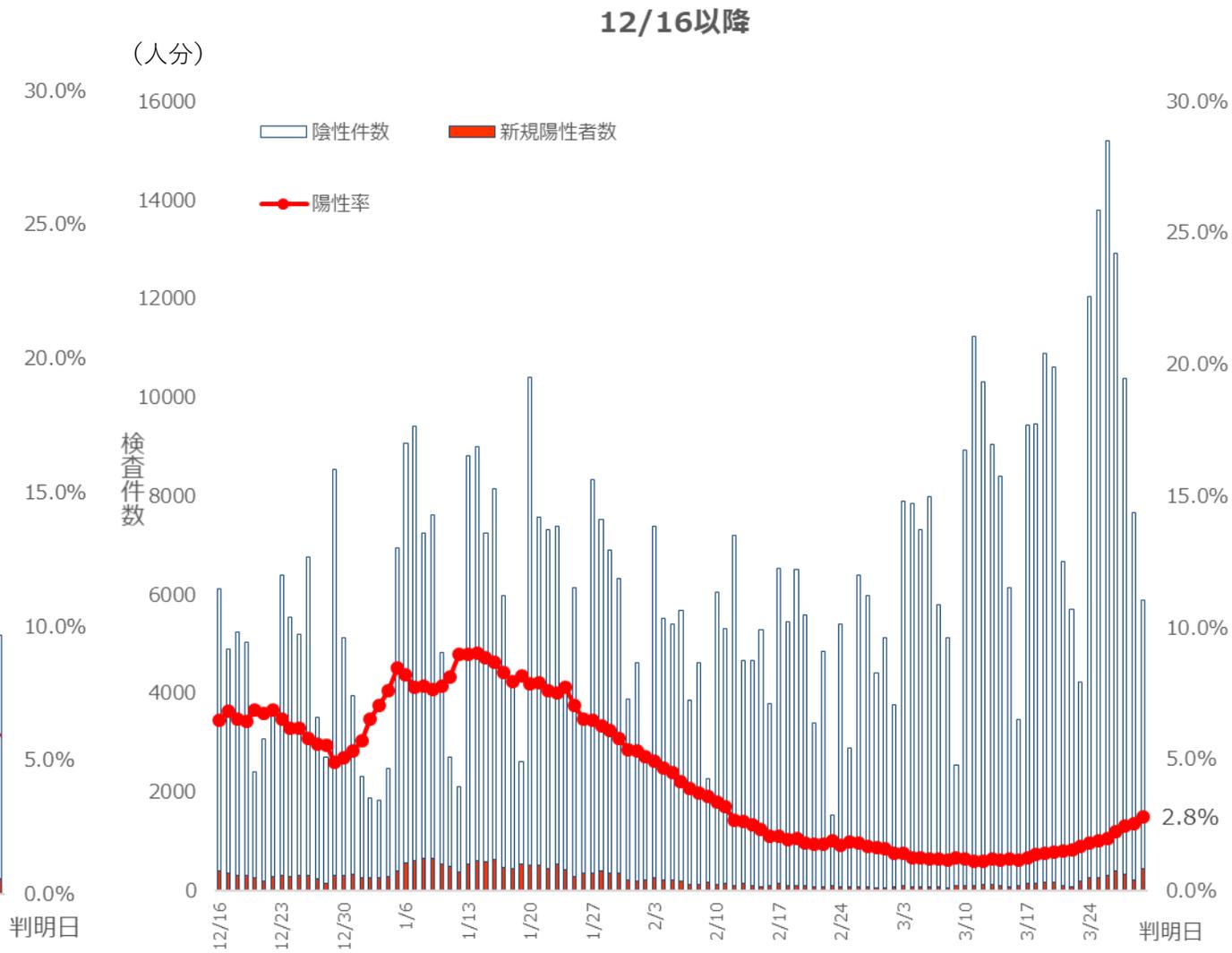
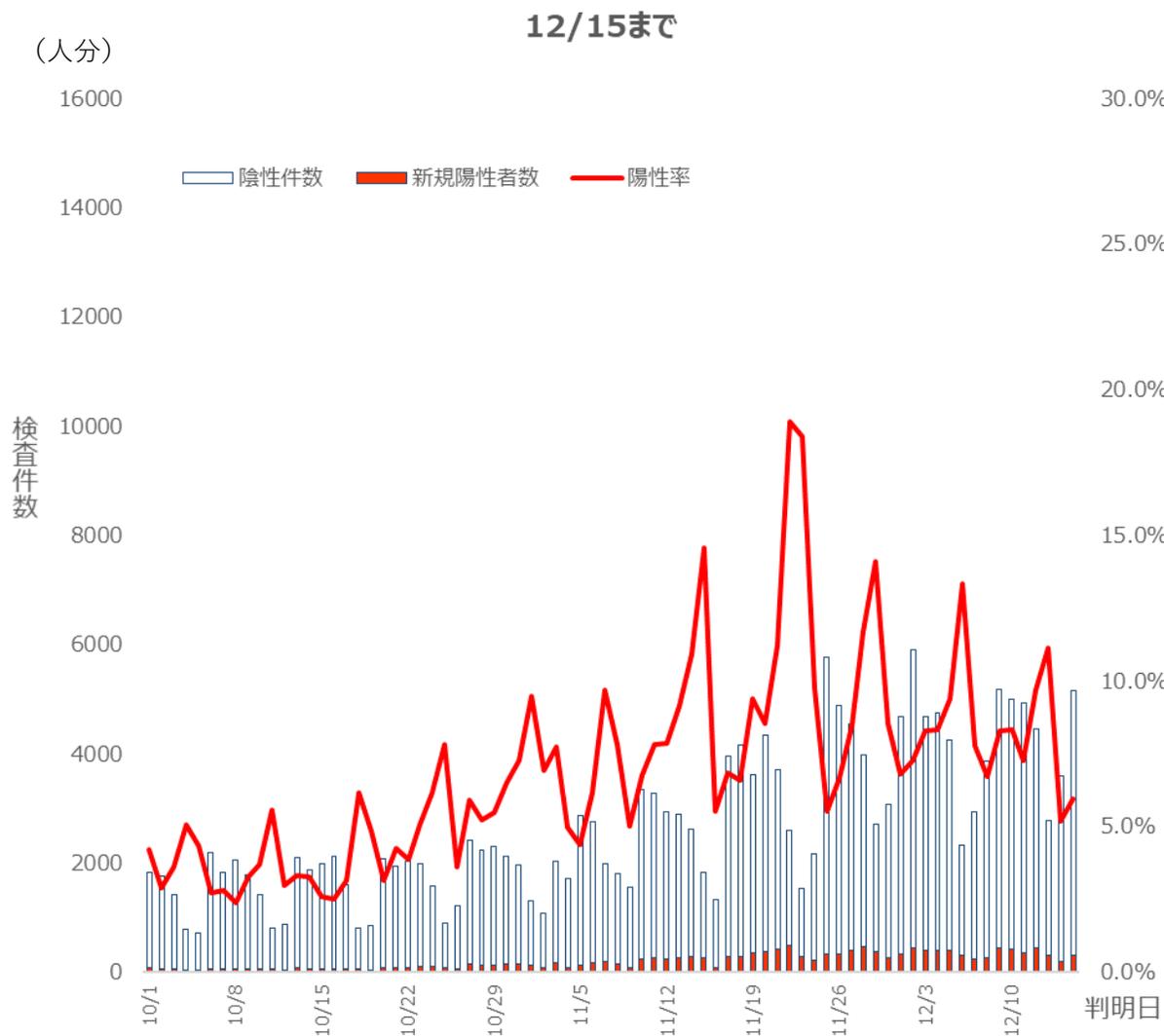
年末年始



現在

検査件数と陽性率

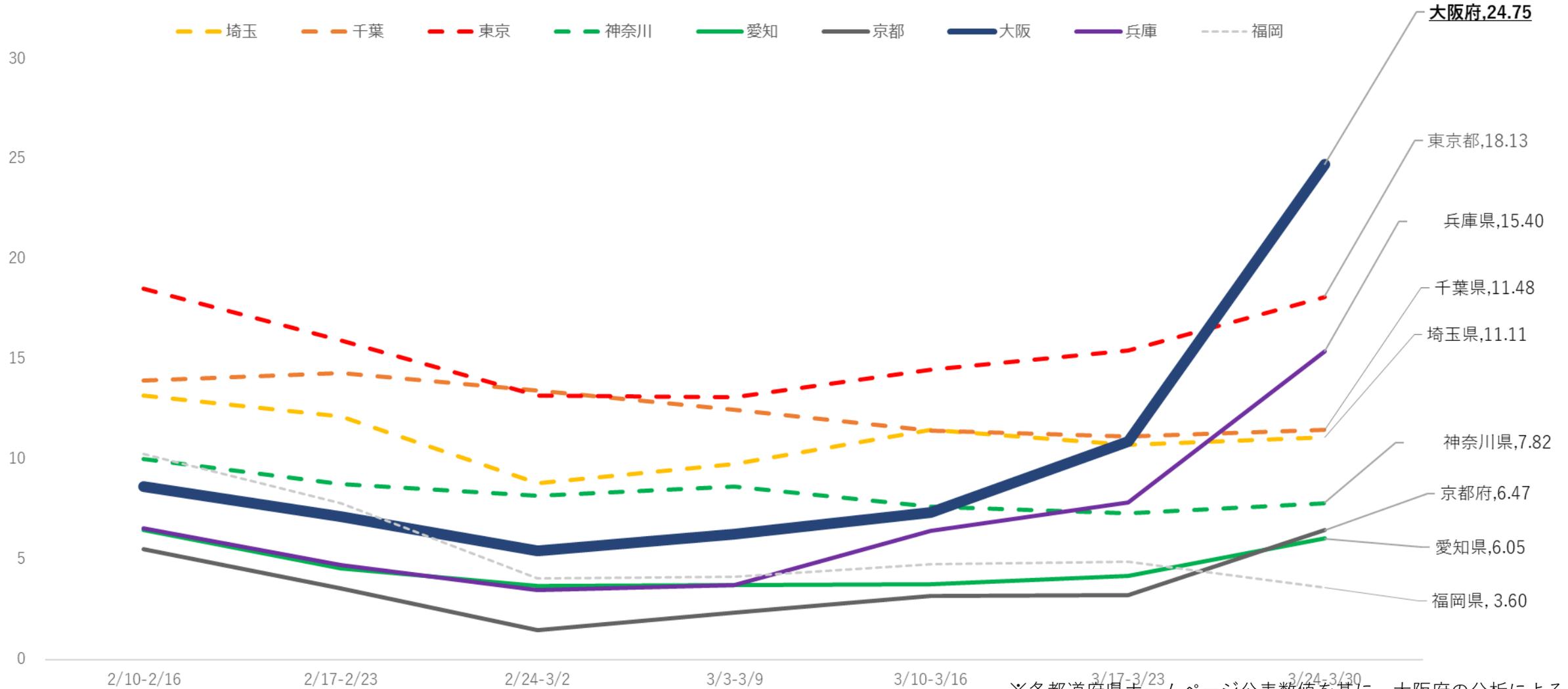
陽性率が感染拡大に伴い増加。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

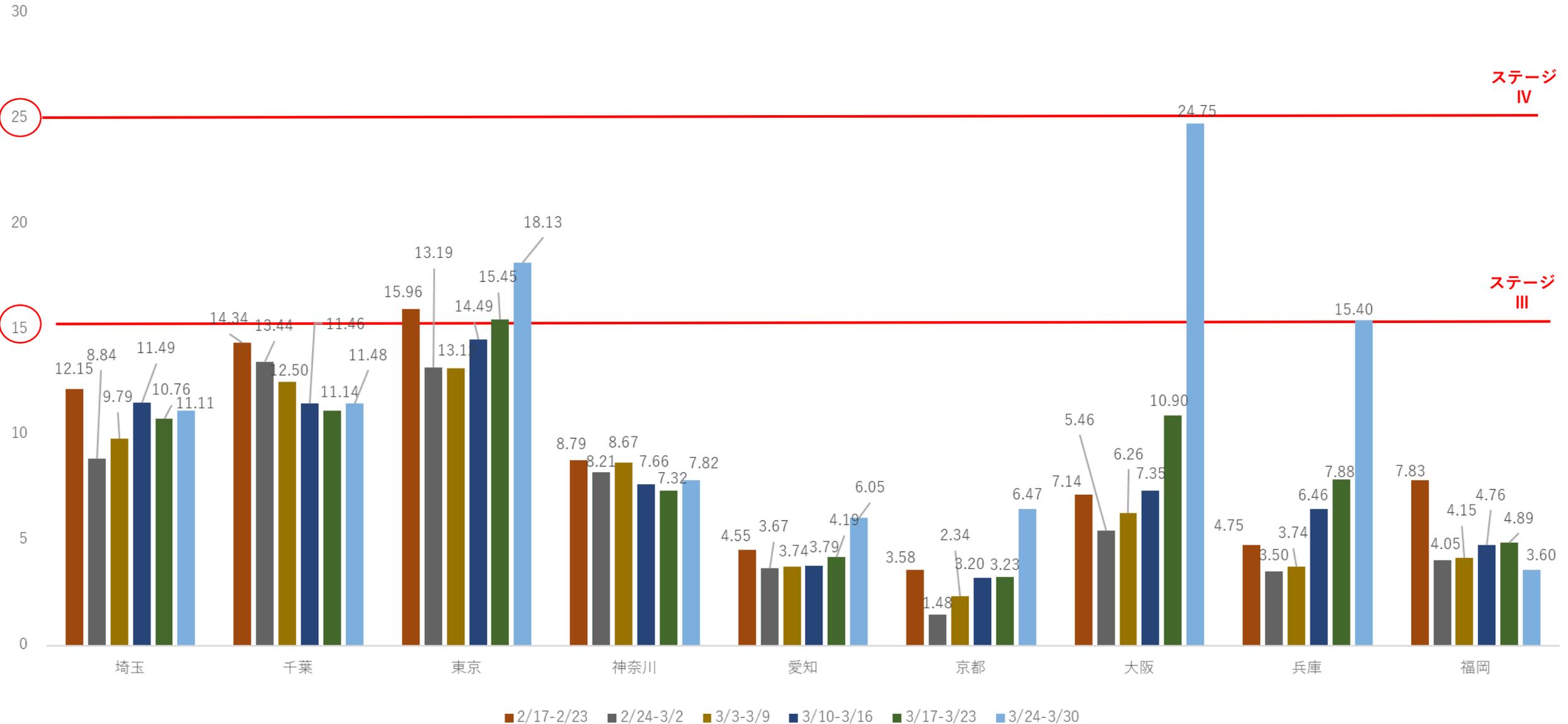
週・人口10万人あたり新規陽性者数（緊急事態措置解除区域）

3月1日付で緊急事態措置解除となった関西の2府1県及び愛知県はいずれも感染拡大に転じているが（福岡県を除く）、大阪府は特に感染が急拡大している。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数（緊急事態措置解除区域）



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

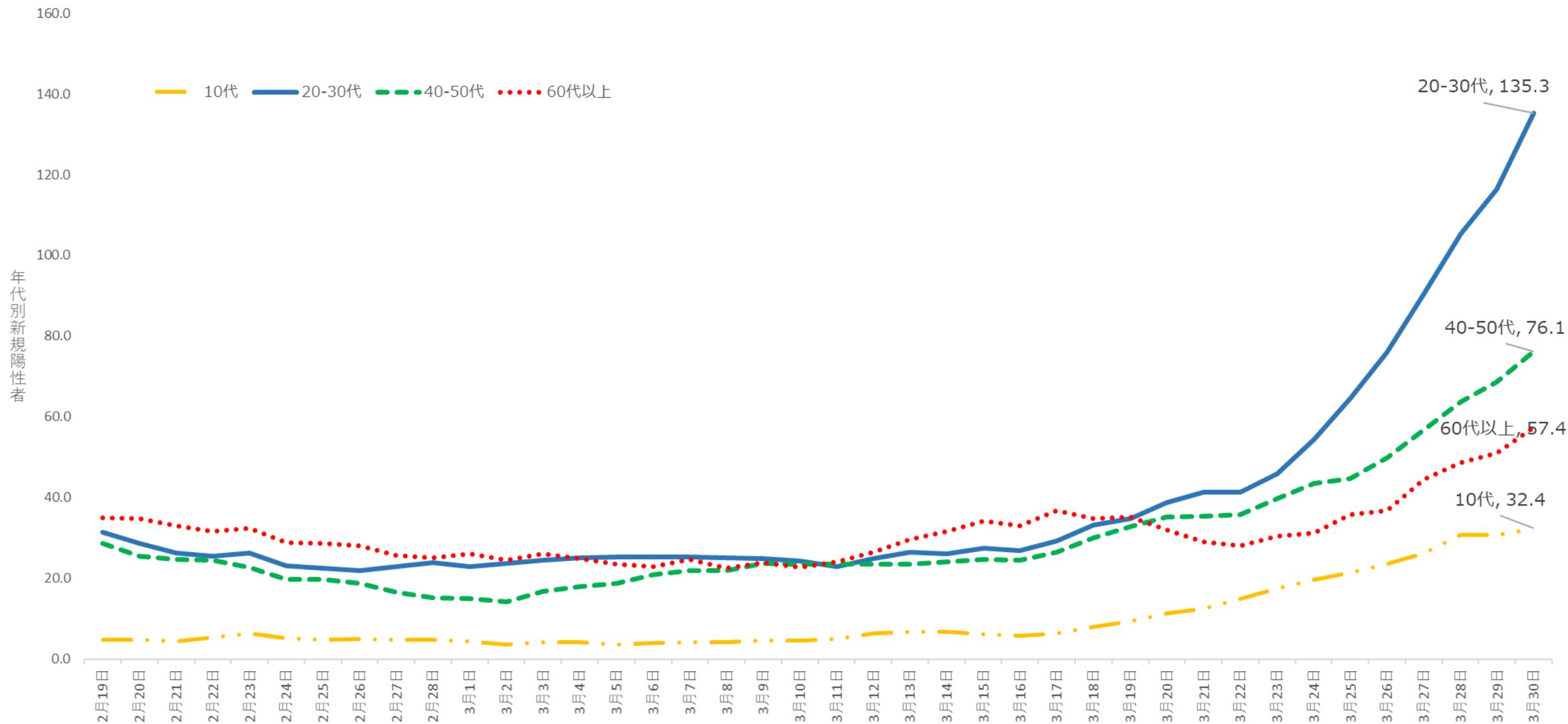
重症病床使用率が急増。軽症中等症病床使用率や宿泊療養施設部屋数使用率も増加。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.66	1.74	1.93	2.11	2.38	2.55	2.69	3/13以降、増加
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	80.57	93.71	110.14	131.43	150.00	162.43	188.43	3/1以降、増加
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	55.3%	64.3%	62.3%	62.4%	57.6%	54.5%	63.2%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	1076	1201	1343	1576	1799	1933	2182	3/3以降増加
	うち後半3日間		—	—	—	524	711	828	952	1009	922	968	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	12.21	13.62	15.24	17.88	20.41	21.93	24.75	3/26に15人（分科会指標ステージⅢ基準）を超過し、31日に25人（ステージⅣ基準）超過
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	1.8%	1.9%	2.0%	2.2%	2.4%	2.5%	2.8%	3/17以降、増加
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率		70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	27.2%	27.2%	28.1%	31.3%	31.7%	37.1%	40.2%	3/21以降増加し、3/30に40%を超過
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	31.8%	32.0%	36.2%	35.6%	38.1%	39.5%	38.6%	3/14以降増加
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	12.3%	14.2%	15.7%	19.0%	22.1%	25.6%	27.0%	3/4以降増加

3/18 大阪市全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請の延長を決定（第40回対策本部会議）
3/26 大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮を決定（第41回対策本部会議）

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

20・30代新規陽性者数が急増し、60代以上も3月23日以降拡大に転じている。



新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

3月29日に、陽性率を除き、ステージⅢの基準を上回り、直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は3月31日にステージⅣの基準(25人)を超過見込み。

		指標	目安	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/30時点の 目安に対する状況	(参考) ステージⅣ 目安	3/30時点の 目安に対する状況
ステージⅢ	医療提供体制等の負荷	最大確保病床の占有率	20%以上	30.8% (623/2,021)	31.0% (627/2,022)	34.8% (703/2,021)	34.6% (699/2,021)	36.8% (744/2,021)	38.6% (780/2,021)	38.2% (772/2,021)	●	50%以上	○
		現時点の確保病床数の占有率	25%以上	31.3% (623/1,990)	31.5% (627/1,990)	35.3% (703/1,990)	35.1% (699/1,990)	37.4% (744/1,990)	39.2% (780/1,990)	38.8% (772/1,990)	●	—	
		重症病床 最大確保病床の占有率	20%以上	21.7% (100/460)	21.7% (100/460)	22.2% (102/460)	23.7% (109/460)	23.9% (110/460)	26.5% (122/460)	28.0% (129/460)	●	50%以上	○
		重症病床 現時点の確保病床数の占有率	25%以上	21.7% (100/460)	21.7% (100/460)	22.2% (102/460)	23.7% (109/460)	23.9% (110/460)	26.5% (122/460)	28.0% (129/460)	●	—	
		人口10万人あたり療養者数	15人以上	16.91	18.42	21.03	23.63	26.35	27.96	31.17	●	25人以上	●
	監視体制	陽性率 1週間平均	10%以上	1.8%	1.9%	2.0%	2.2%	2.4%	2.5%	2.8%	○	ステージⅢ と同基準	○
		直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	15人以上	12.21	13.62	15.24	17.88	20.41	21.93	24.75	●	25人以上	○
	感染の状況	直近一週間と先週一週間の比較	1より大きい	1.51 (1076/711)	1.57 (1201/764)	1.66 (1343/811)	1.87 (1576/844)	2.11 (1799/852)	2.24 (1933/864)	2.27 (2182/961)	●	ステージⅢ と同基準	●
		感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	52.4%	54.6%	57.4%	58.4%	58.4%	58.8%	60.4%	●	ステージⅢ と同基準	●

3/18 大阪市全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請の延長を決定(第40回対策本部会議)
3/26 大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮を決定(第41回対策本部会議)

●: 基準外 ○: 基準内

病床確保計画に定める「最大確保病床」を「現時点の確保病床」が上回る場合は、「現時点の確保病床数」に読み替える。

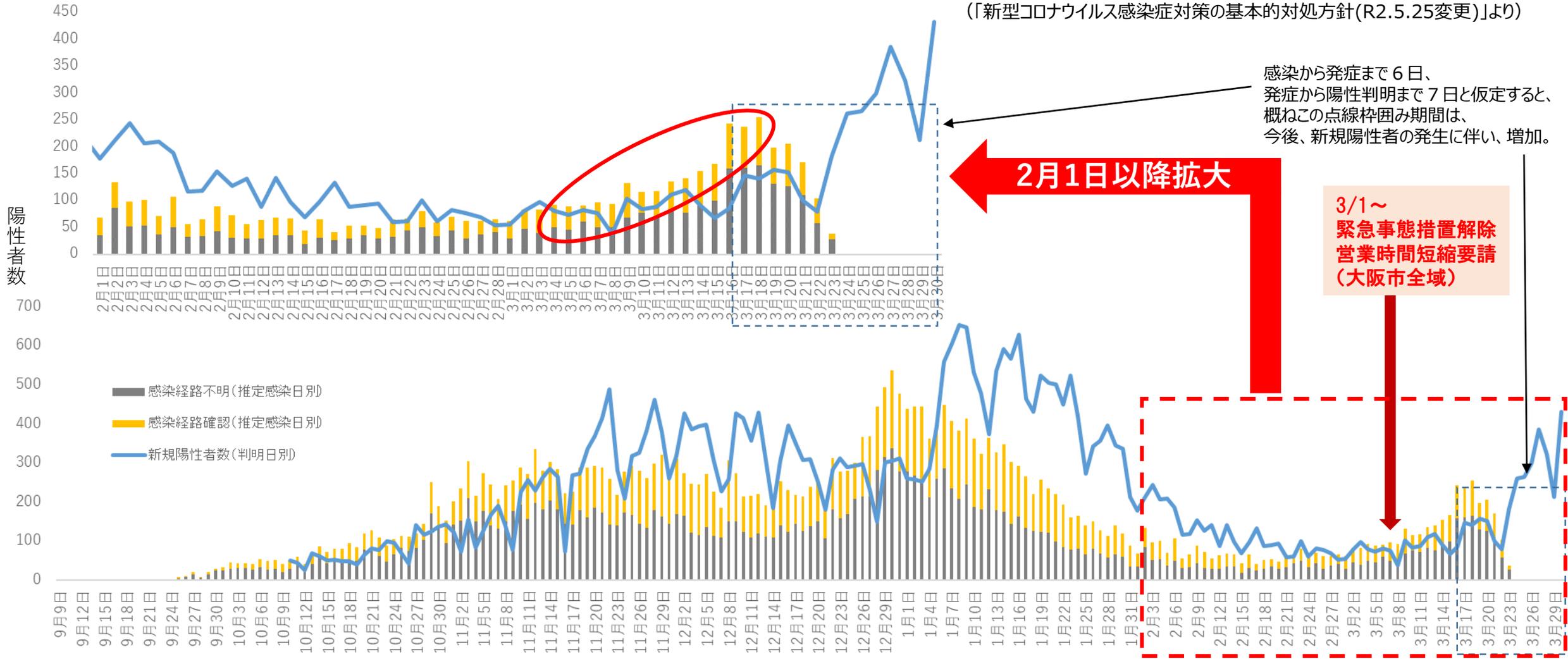
推定感染日別陽性者数（3月30日時点）

3月中旬以降に感染したと推定される陽性者が急増。

（10月10日以降3月30日までの判明日分）（N=33,541名（調査中、不明、無症状7,004名を除く））

※2月1日以降拡大

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定
（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より）

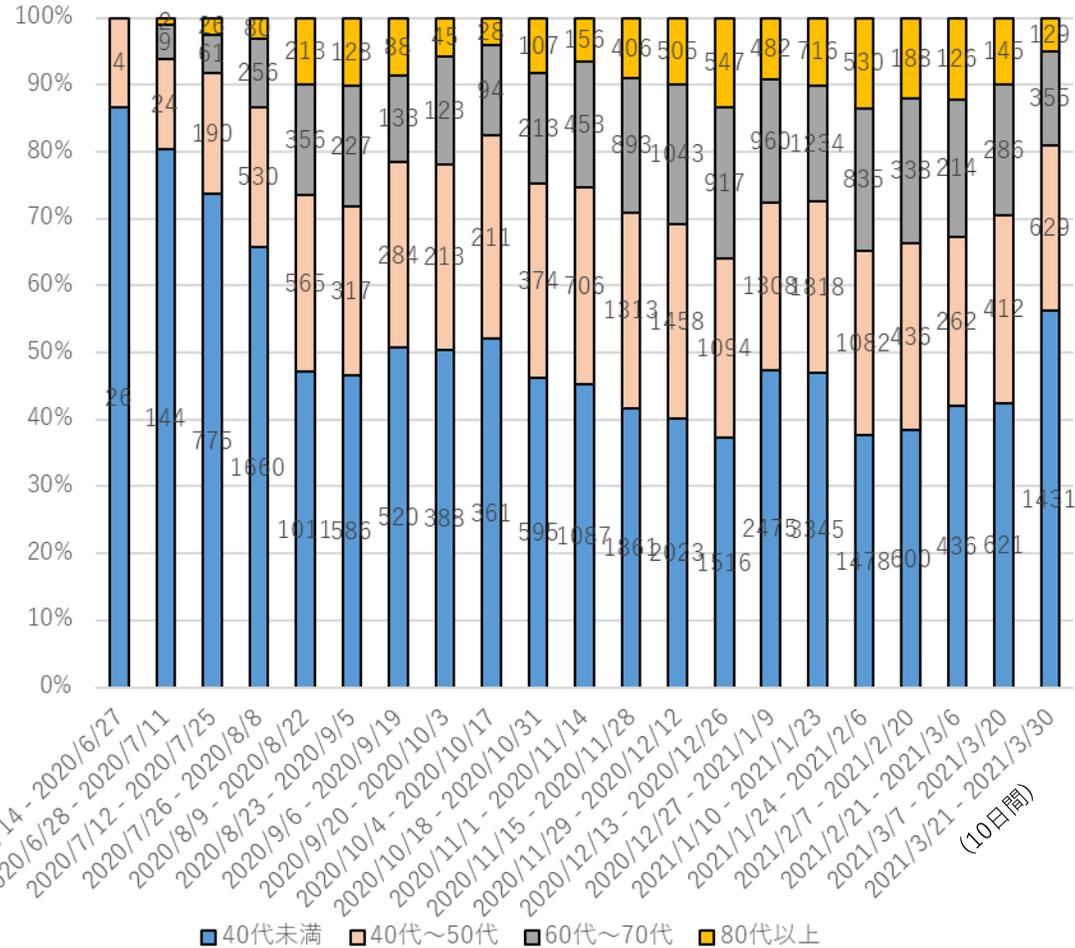


陽性者の年齢区分

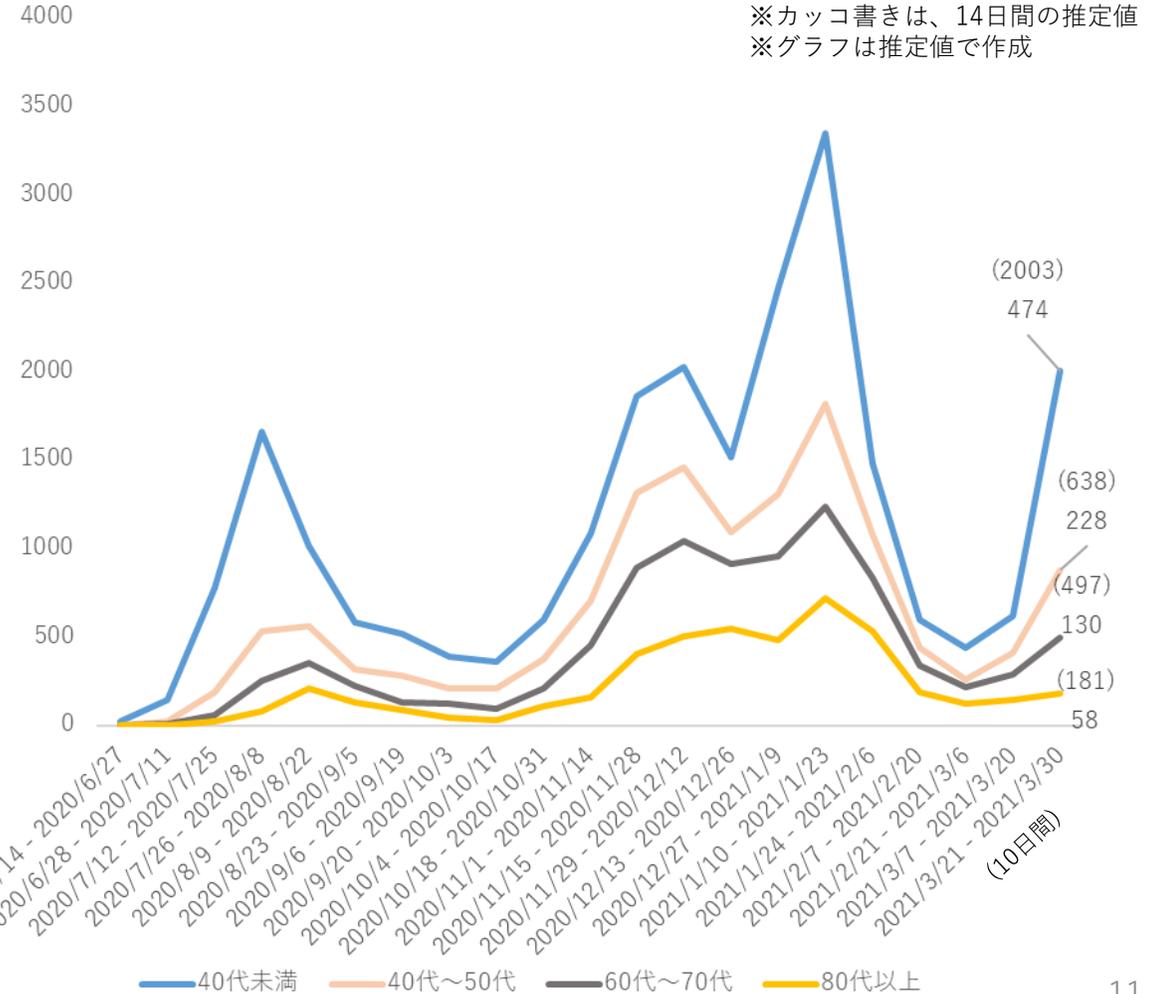
直近10日間で40代未満の割合が急増し、6割弱。実数でも急増。

(6月14日以降3月30日までに判明した49,816事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

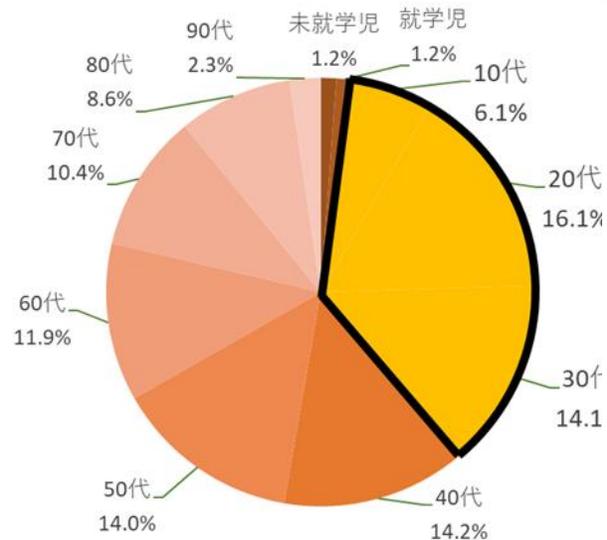


陽性者の年齢区分 年代別新規陽性者の割合

直近2週間の10代～30代の割合が5割を超え(51.5%)、前の2週間(36.3%)と比較して急増。
若者を中心に感染が拡大しており、特に学生の割合が増加。

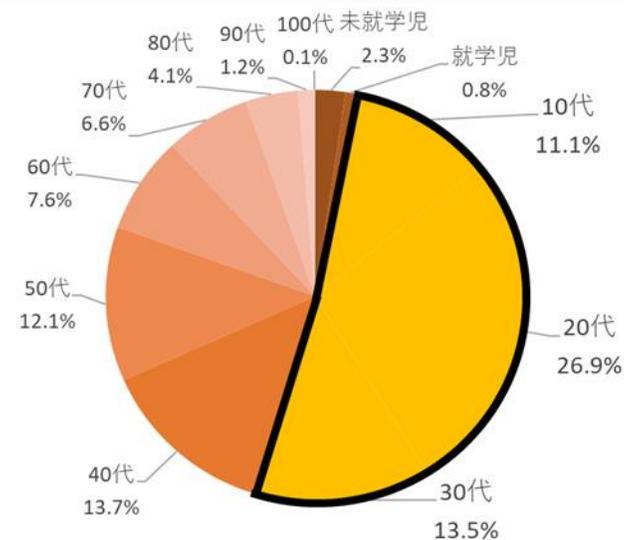
【年代別新規陽性者の割合】

3/3～3/16



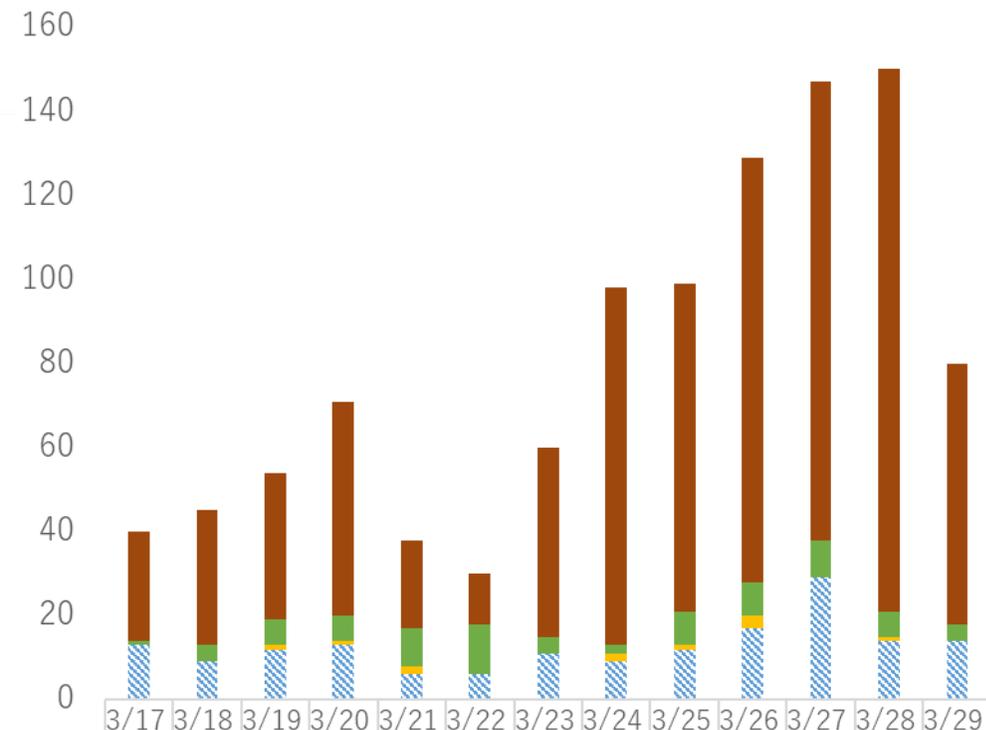
**10代～30代の割合
36.3%**

3/17～3/30



**10代～30代の割合
51.5%**

【10・20代新規陽性者の内訳】



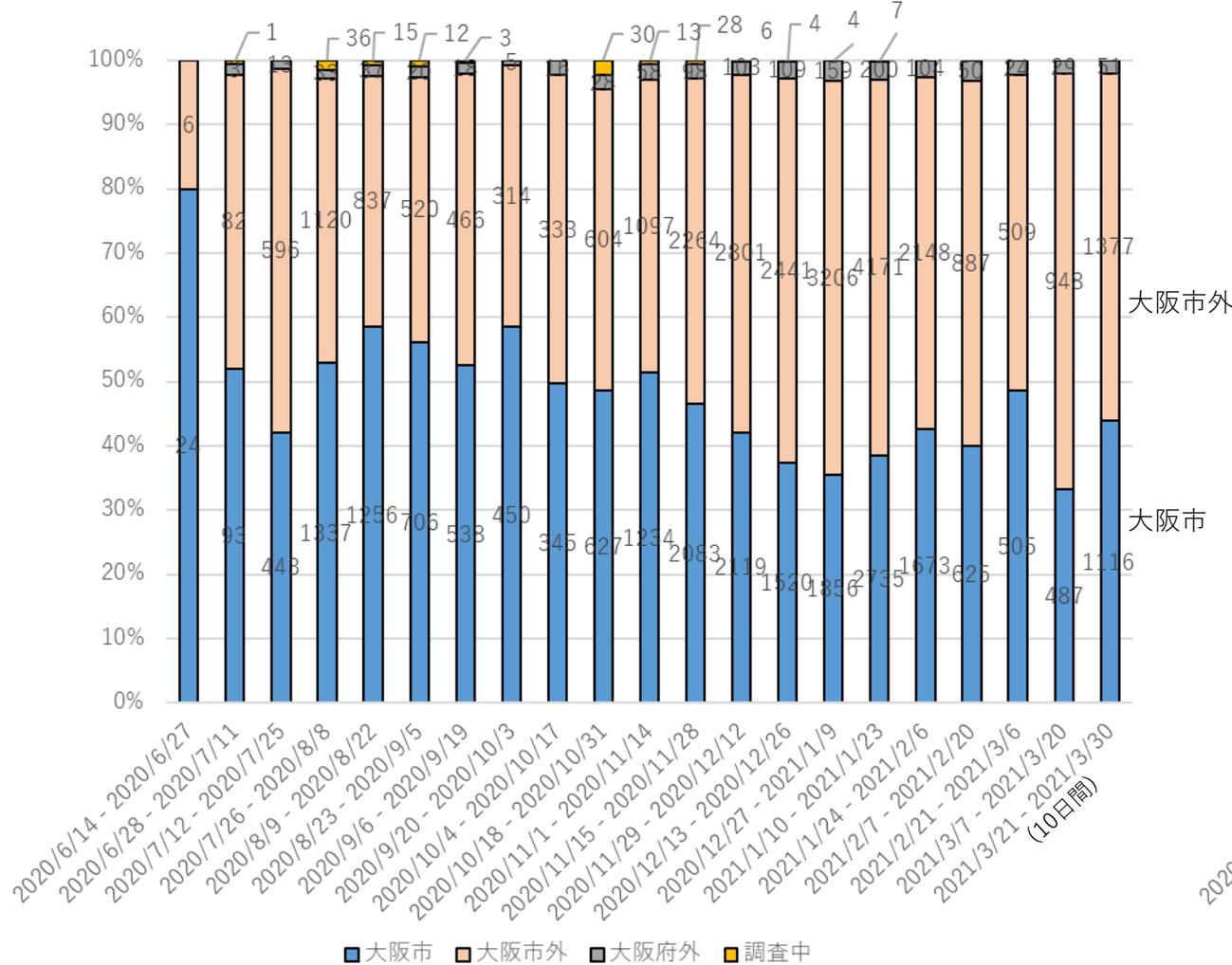
	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29
■ その他	26	32	35	51	21	12	45	85	78	101	109	129	62
■ 高校生	1	4	6	6	9	12	4	2	8	8	9	6	4
■ 専門学生	0	0	1	1	2	0	0	2	1	3	0	1	0
■ 大学生	13	9	12	13	6	6	11	9	12	17	29	14	14

陽性者の居住地

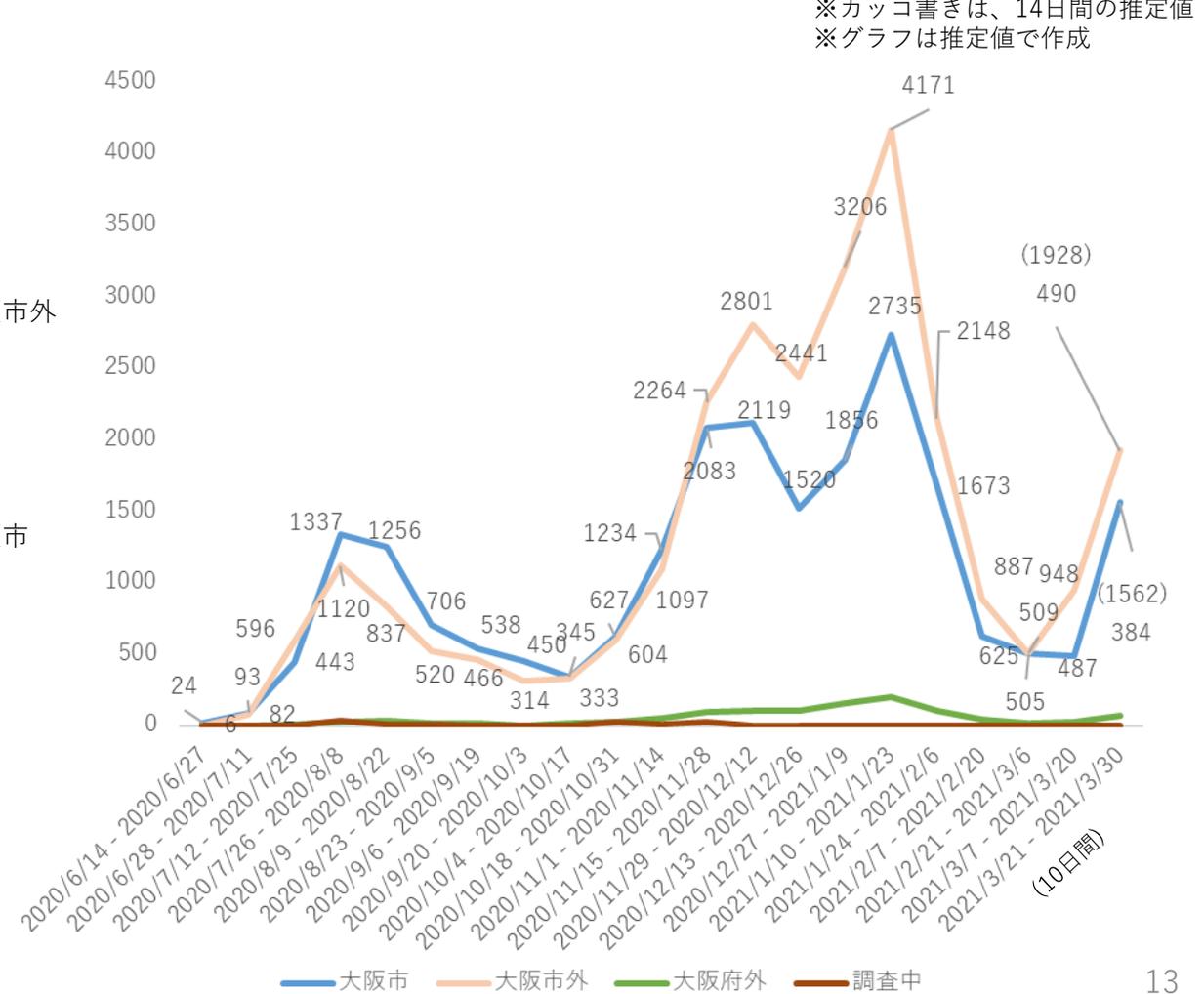
直近10日間は、大阪市内居住者の割合・実数が再び増加。市外居住者も依然増加。

(6月14日以降3月30日までに判明した49,816事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



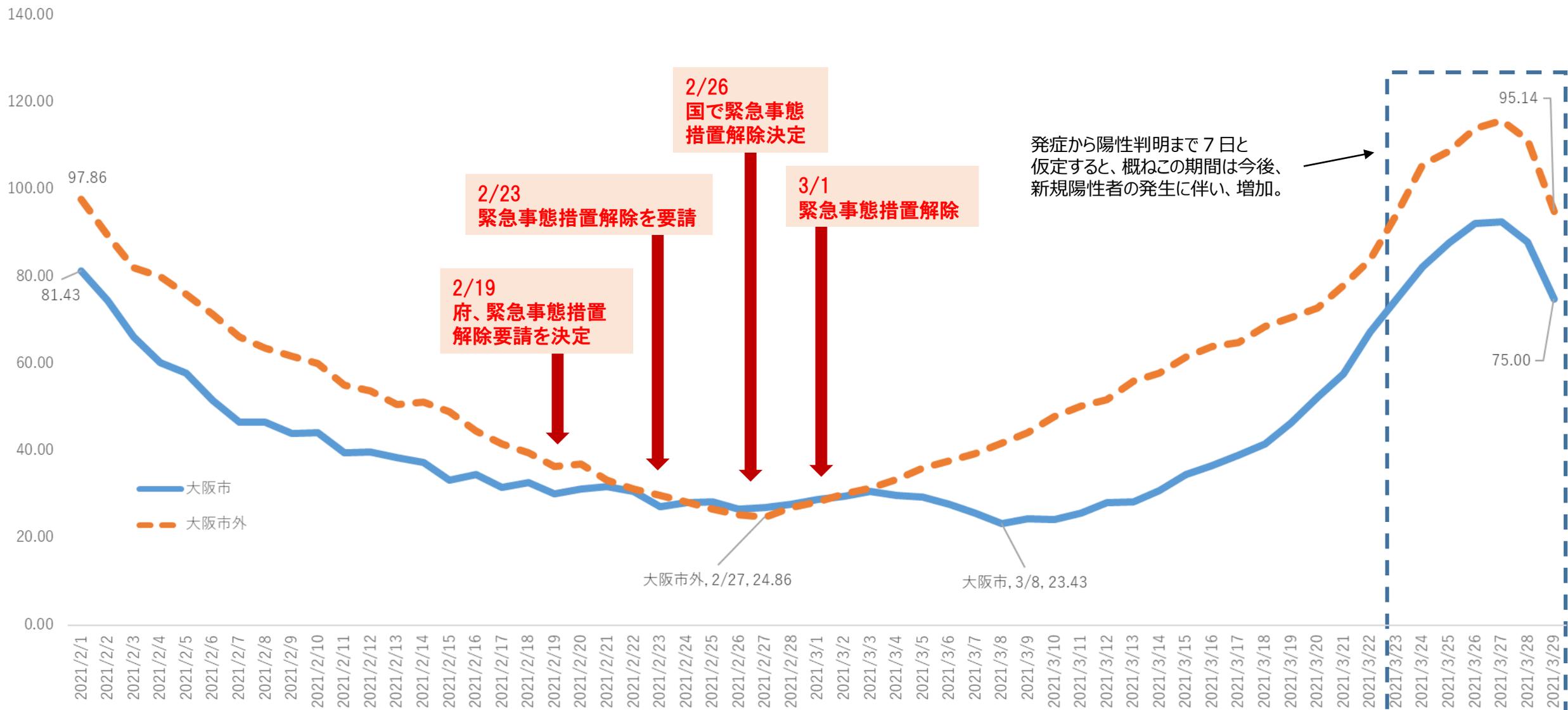
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



発症日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、不明、無症状等を除く

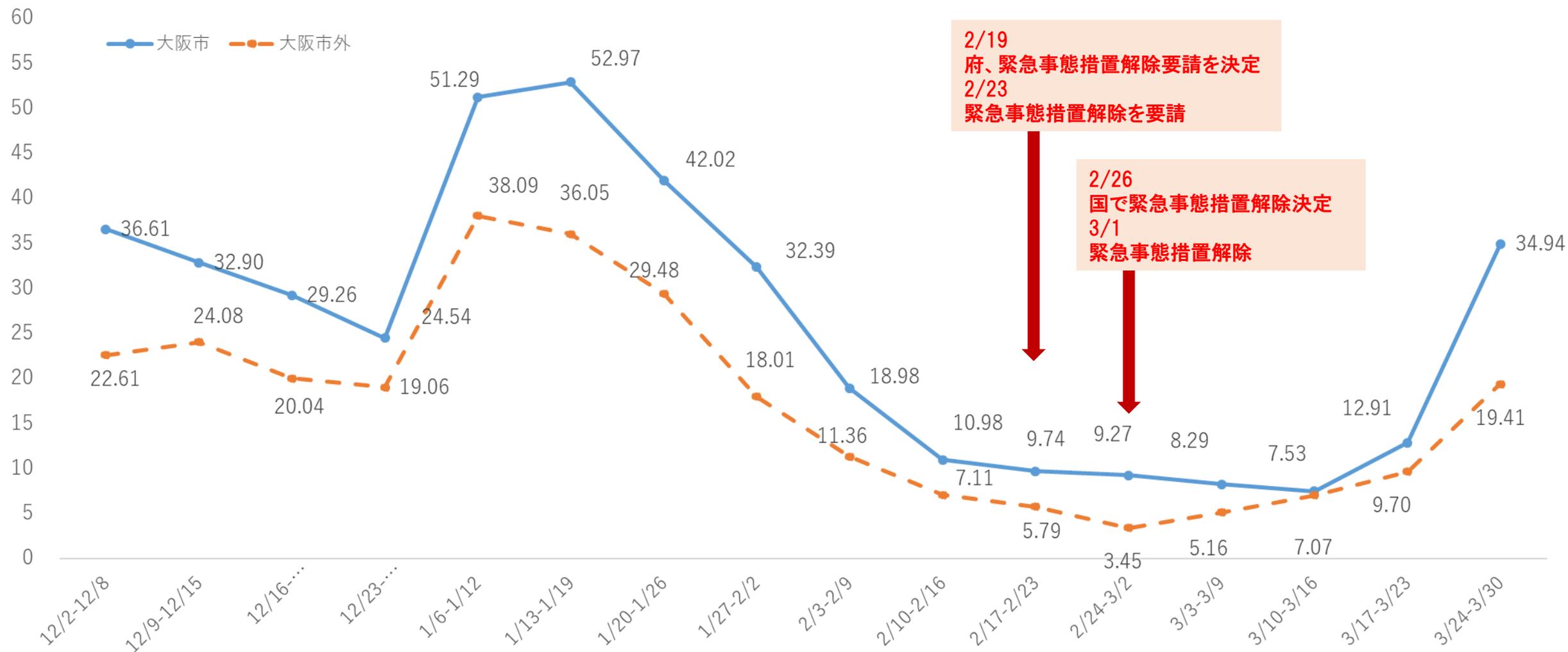
発症日別では、市内・市外居住者ともに急増している。



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

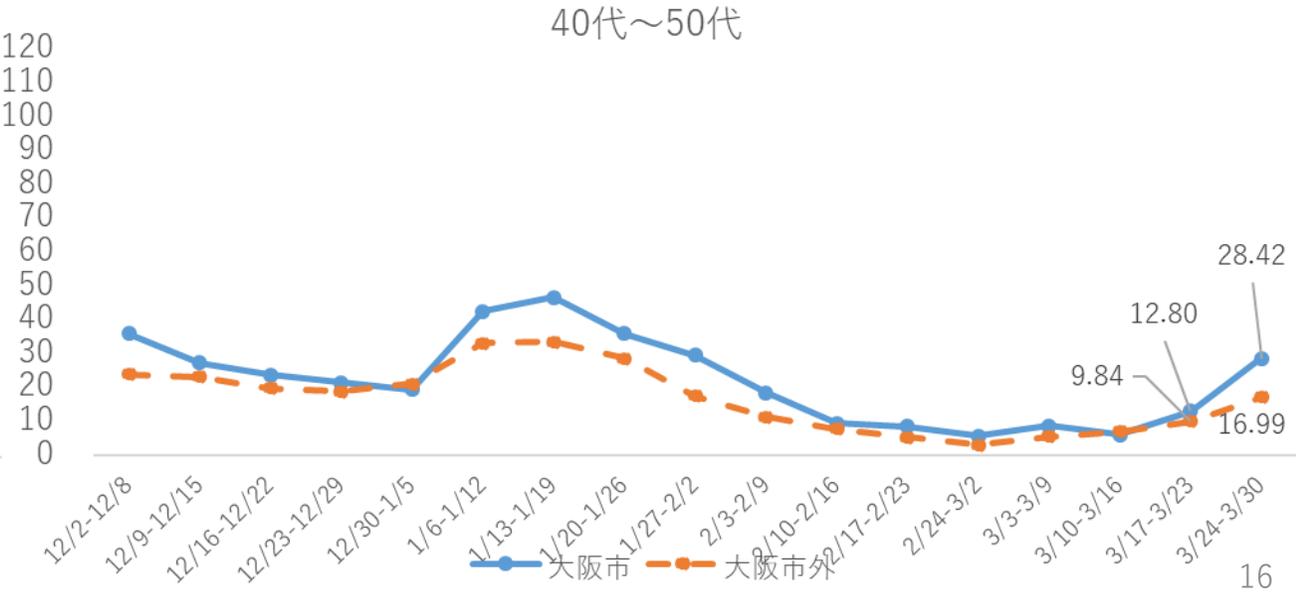
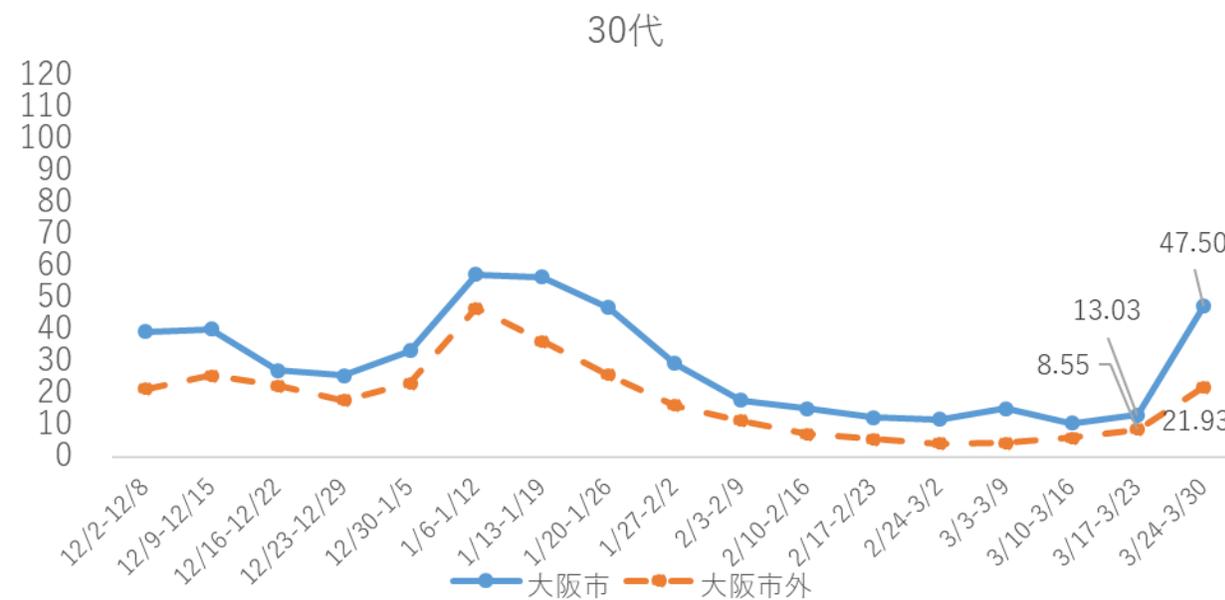
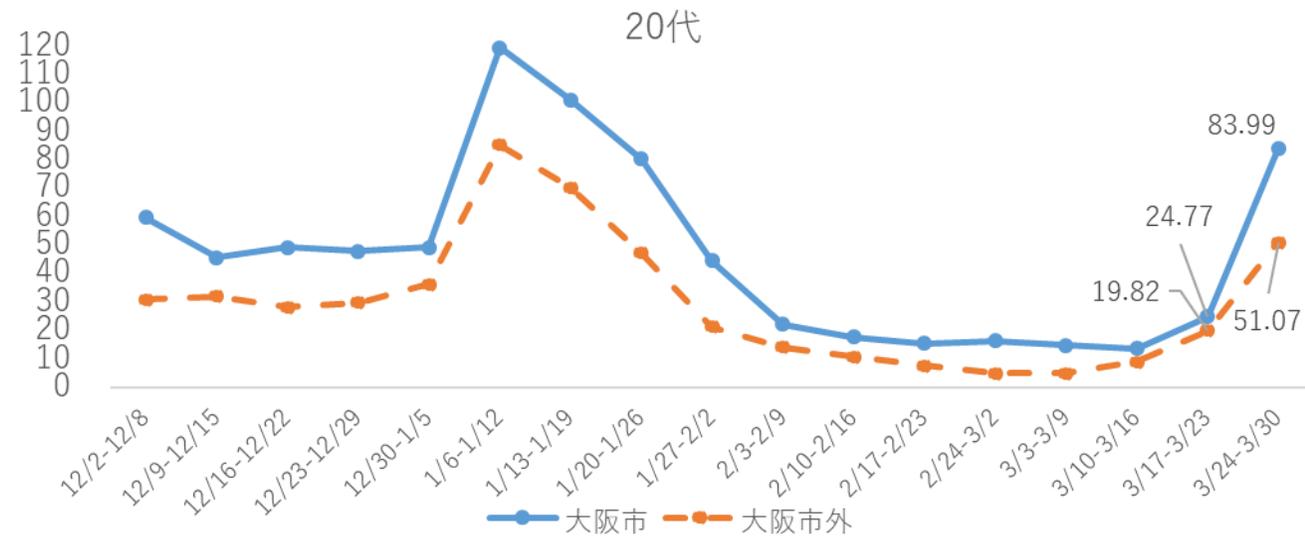
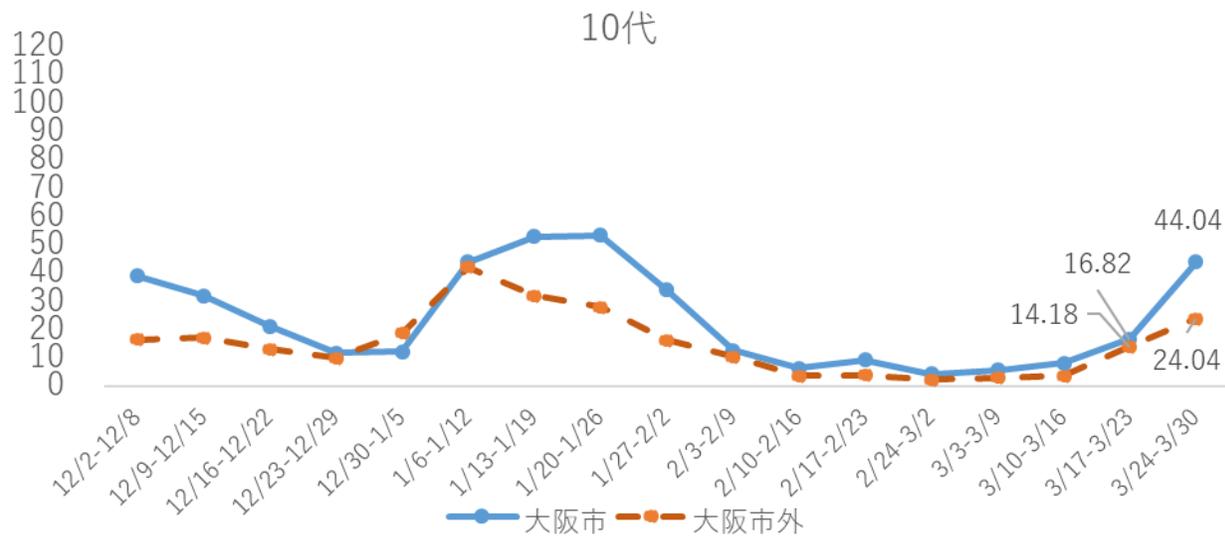
大阪市内居住者は直近1週間で約3倍に、市外居住者は約2倍に急増している。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

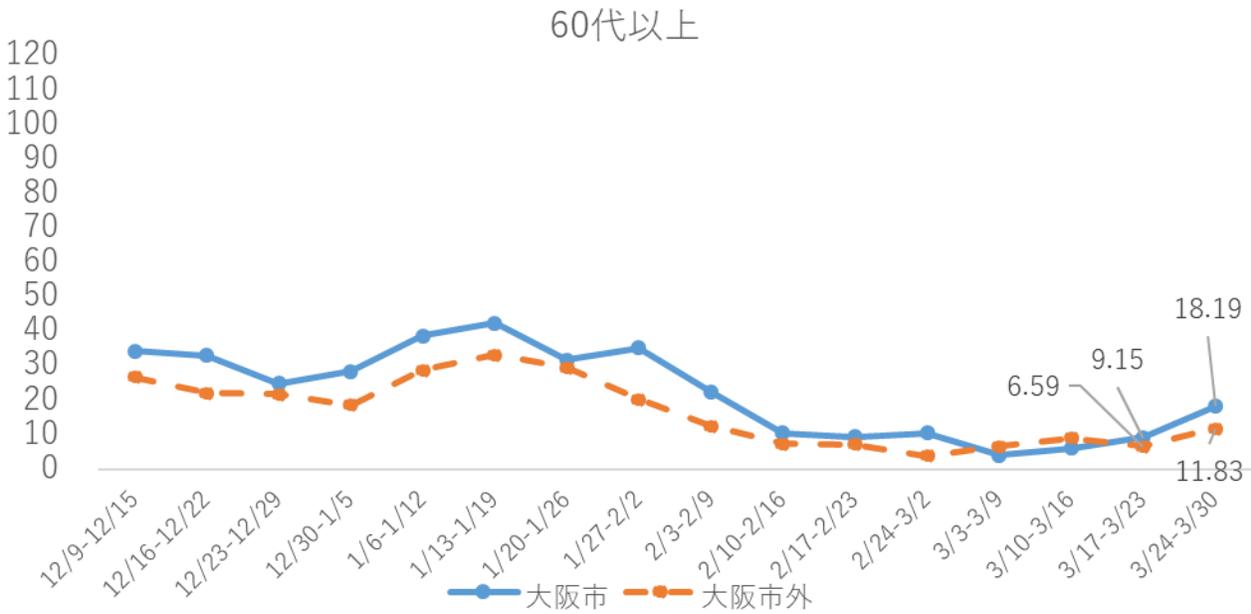
人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外・各年代で大きく増加。特に10代～30代が急増。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

60代以上の人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外ともに増加。

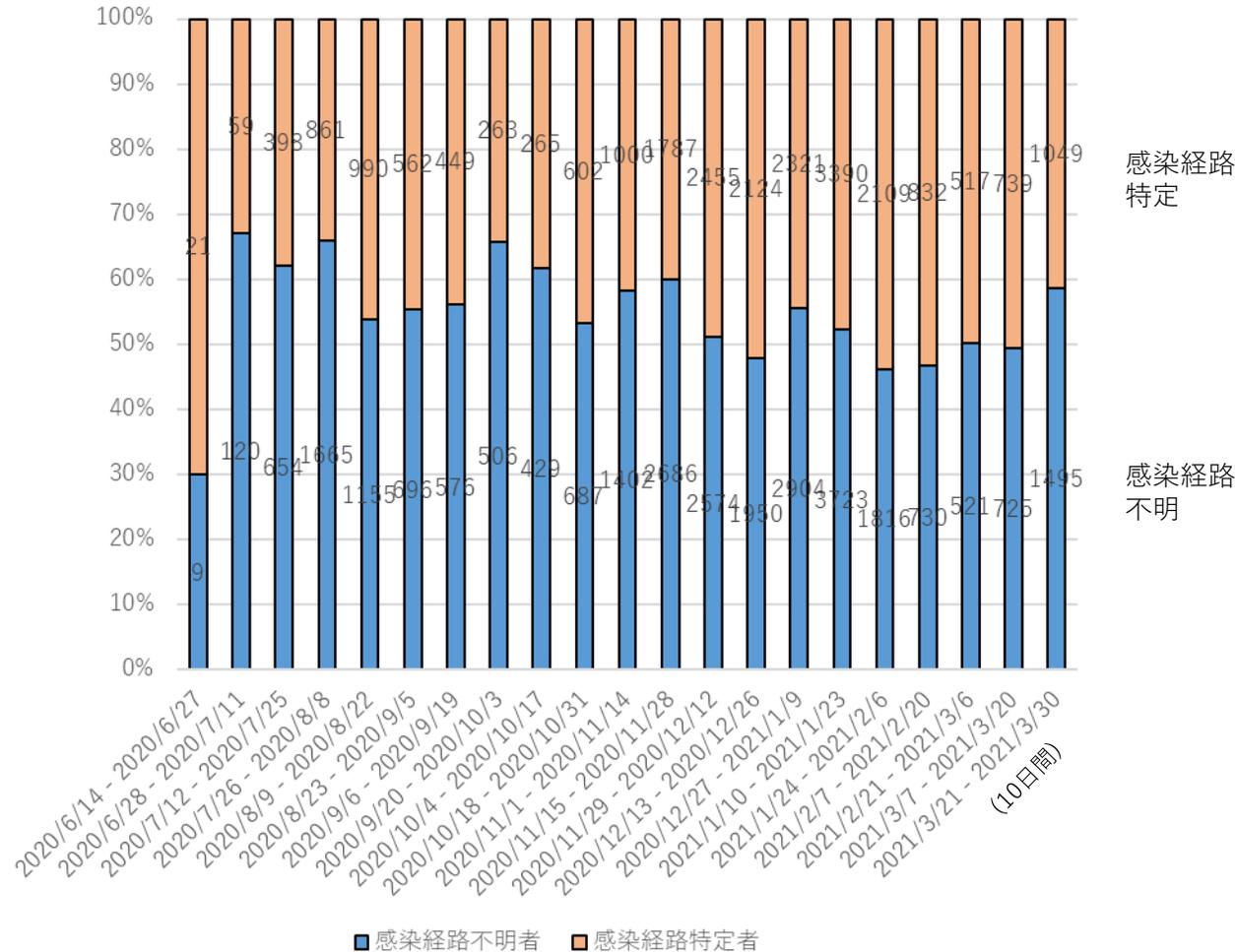


陽性者の感染経路の状況

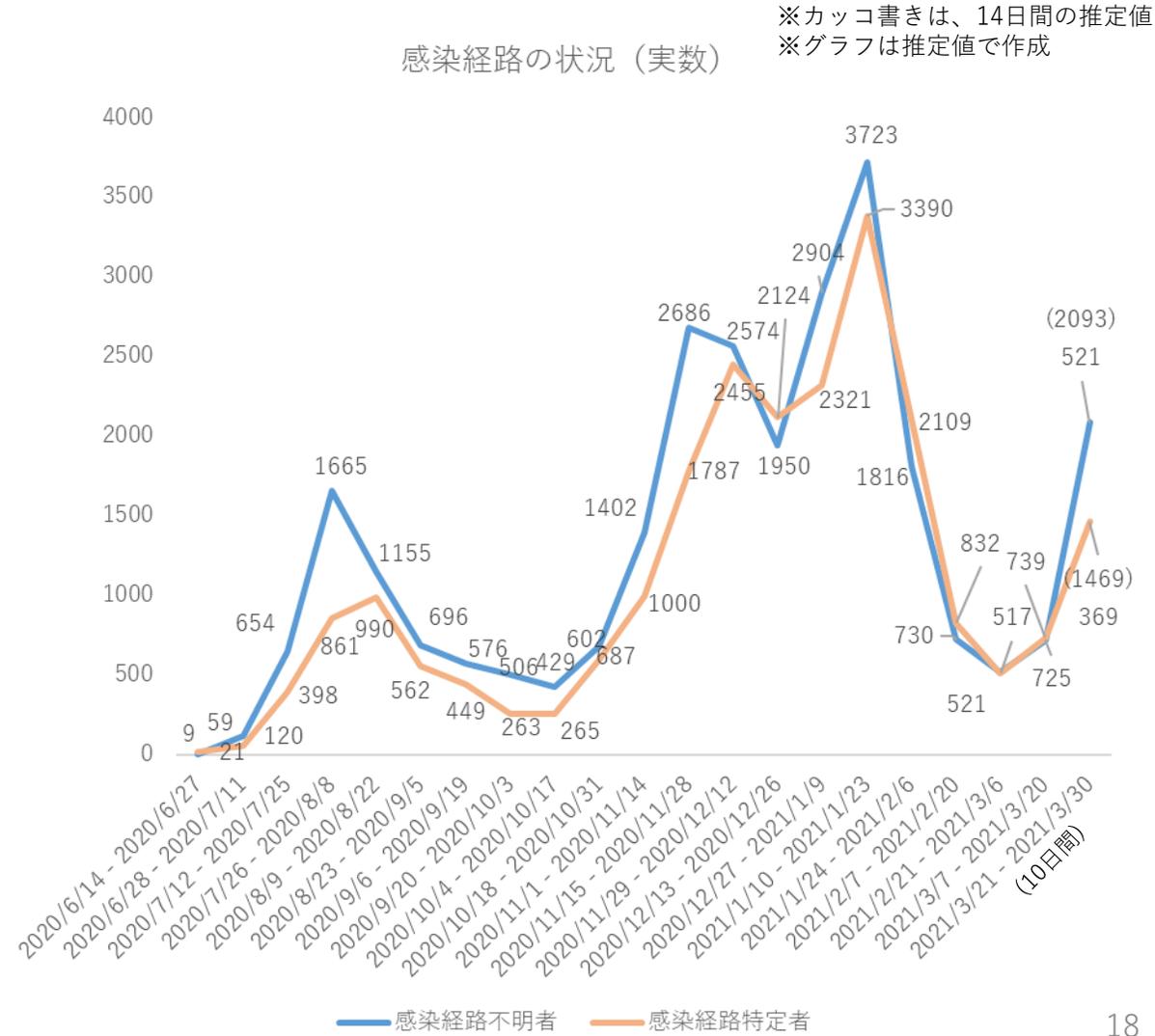
直近10日間で感染経路不明の割合が6割まで増加し、実数でも感染経路不明者数が急増。

(6月14日以降3月30日までに判明した49,816事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

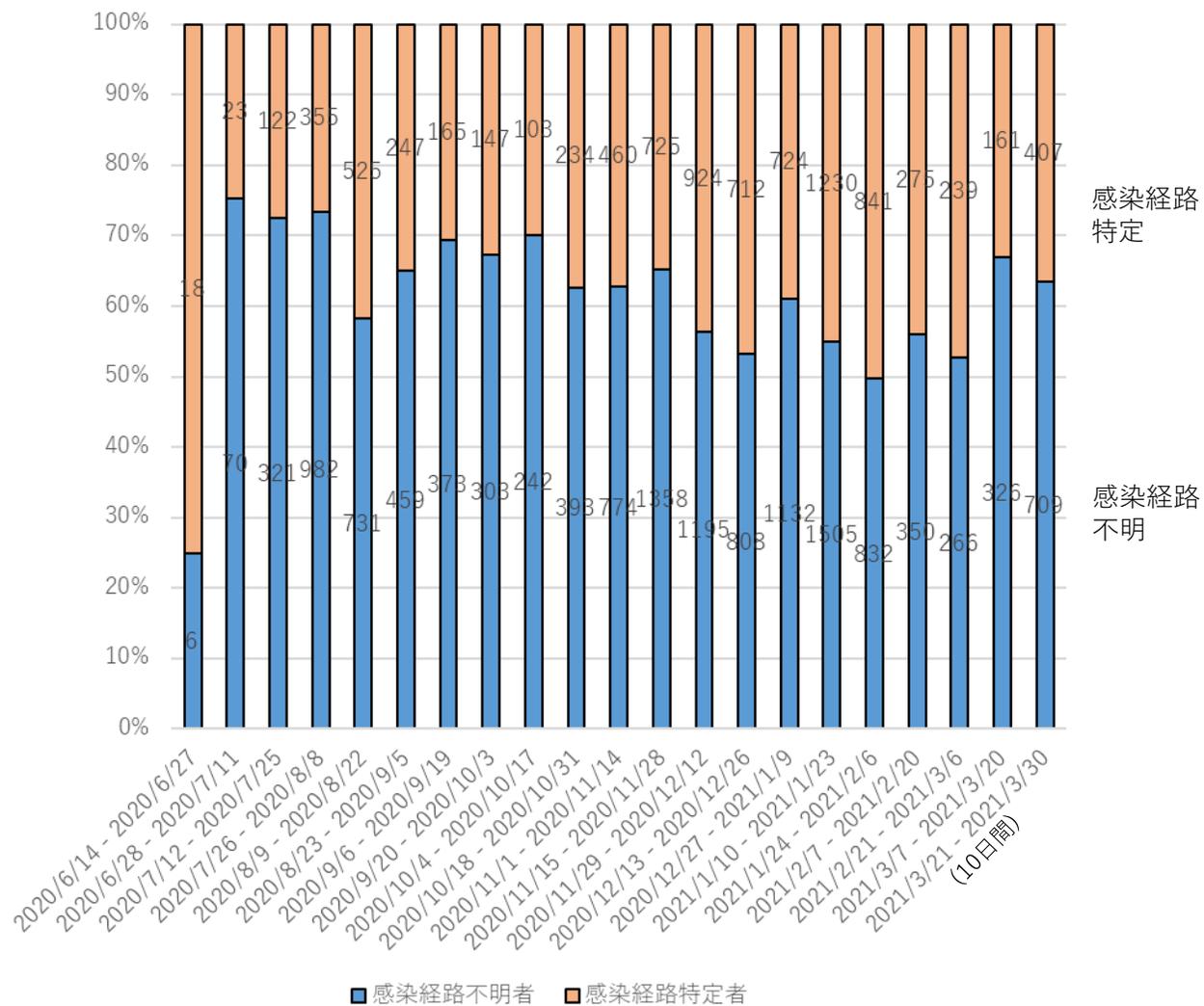


陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

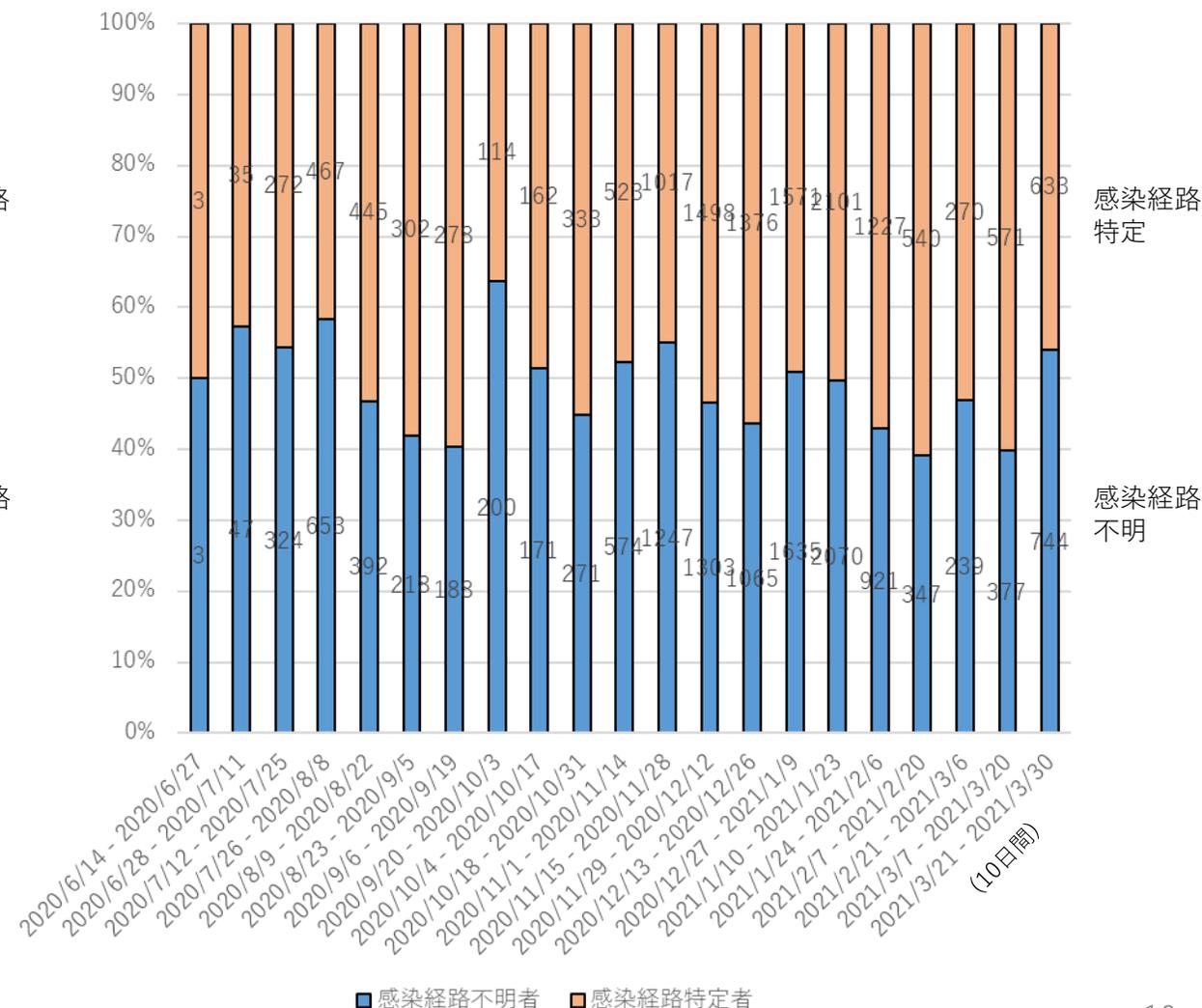
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近10日間における感染経路不明割合は、市内居住者が6割強と依然高く、市外居住者も増加し、5割を超過。

感染経路の状況（大阪市内）



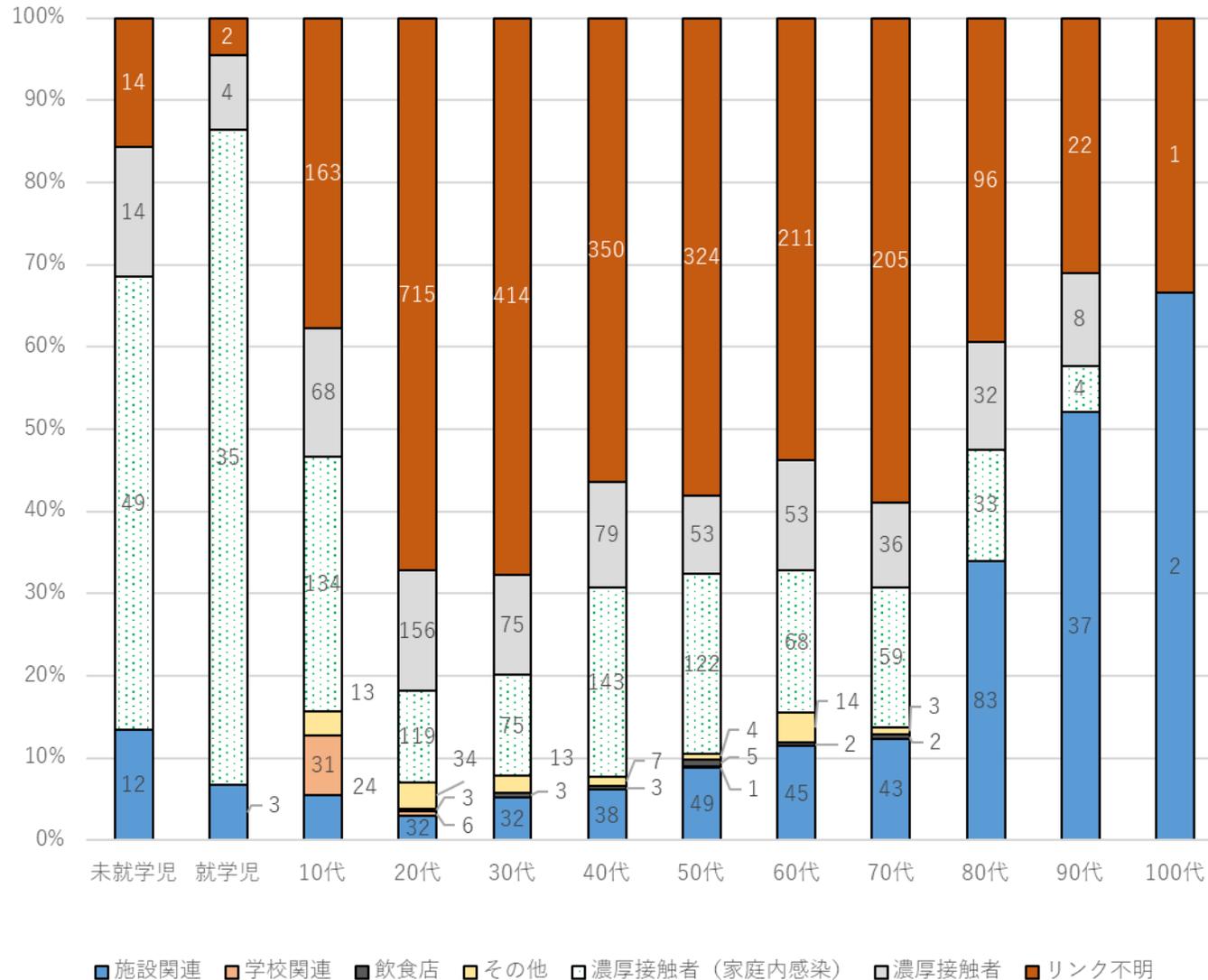
感染経路の状況（大阪市外）



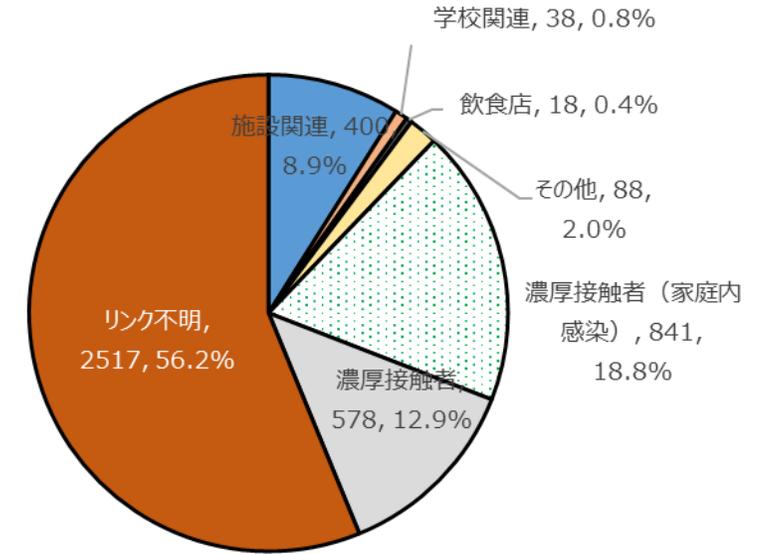
感染経路（第四波）

（3月1日以降3月30日までに判明した4,480事例の状況）

年代別感染経路



全年代感染経路



< 全年代感染経路 >

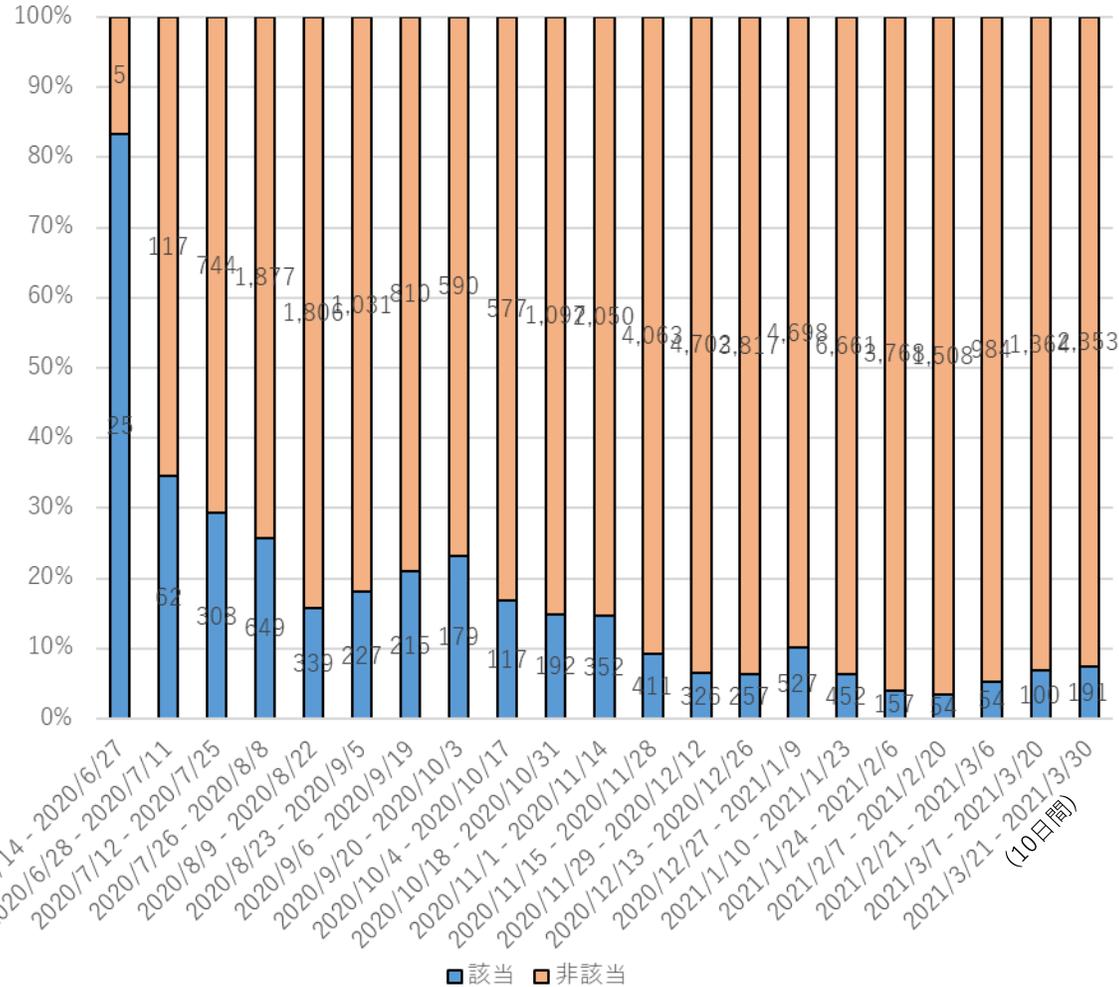
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第4波 (3/30まで)	8.9%	0.8%	0.4%	2.0%	18.8%	12.9%	56.2%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

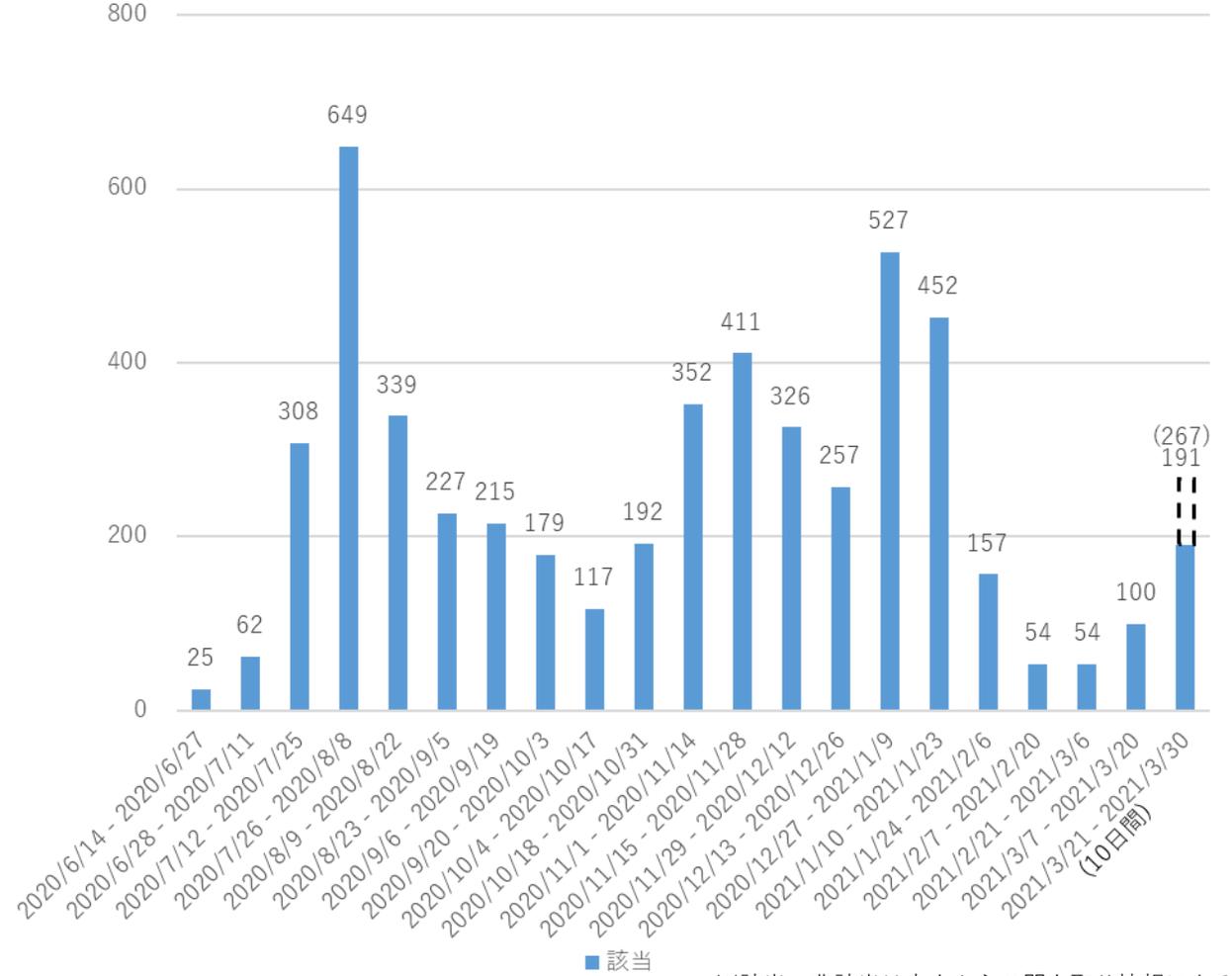
夜の街の関係者及び滞在者の割合・人数は、3月から増加。

（6月14日以降3月30日までに判明した49,816事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

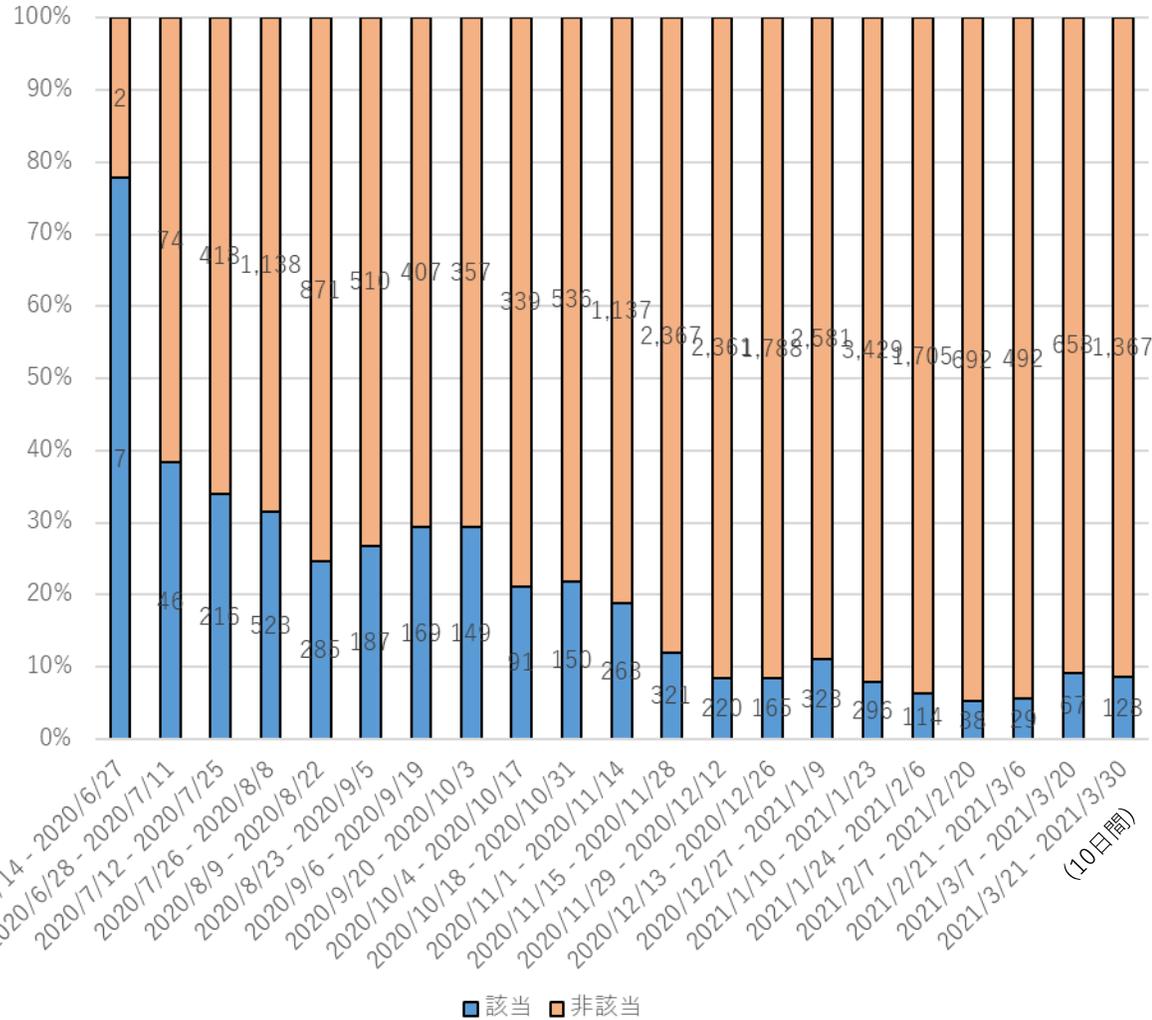


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による21

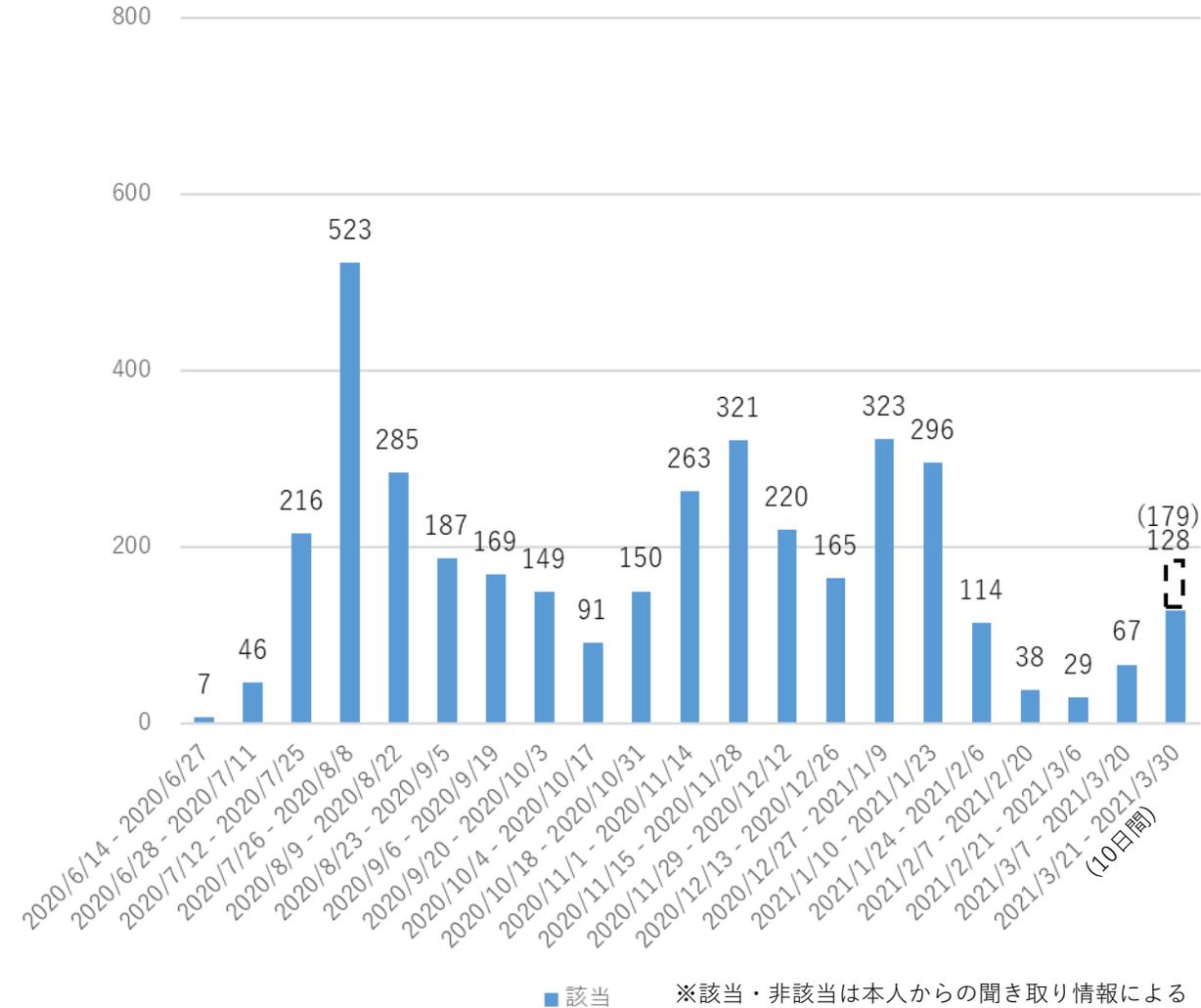
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降3月30日までに判明した感染経路不明者27,016事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）

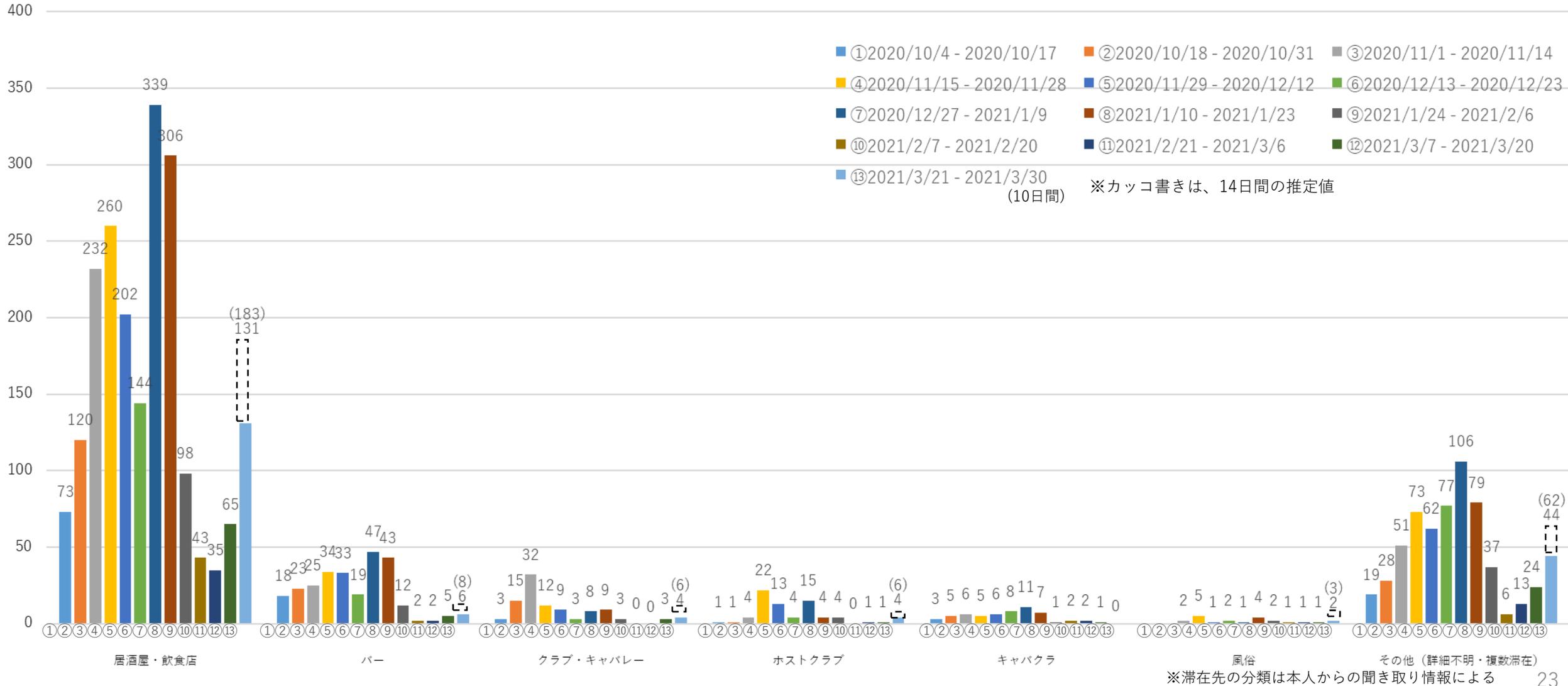


■ 該当 ※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

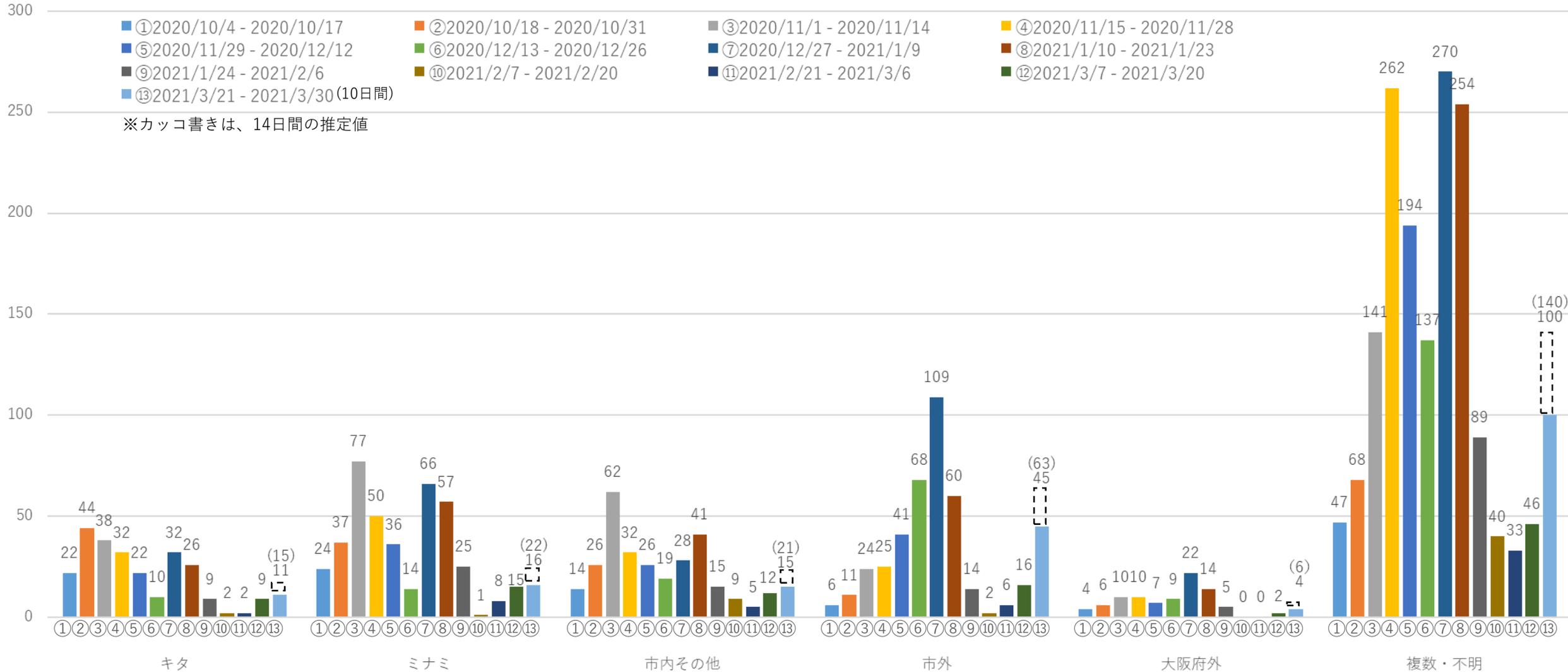
居酒屋・飲食店は、3月より増加に転じている

(10月4日以降3月30日までに判明した3,190事例の状況)



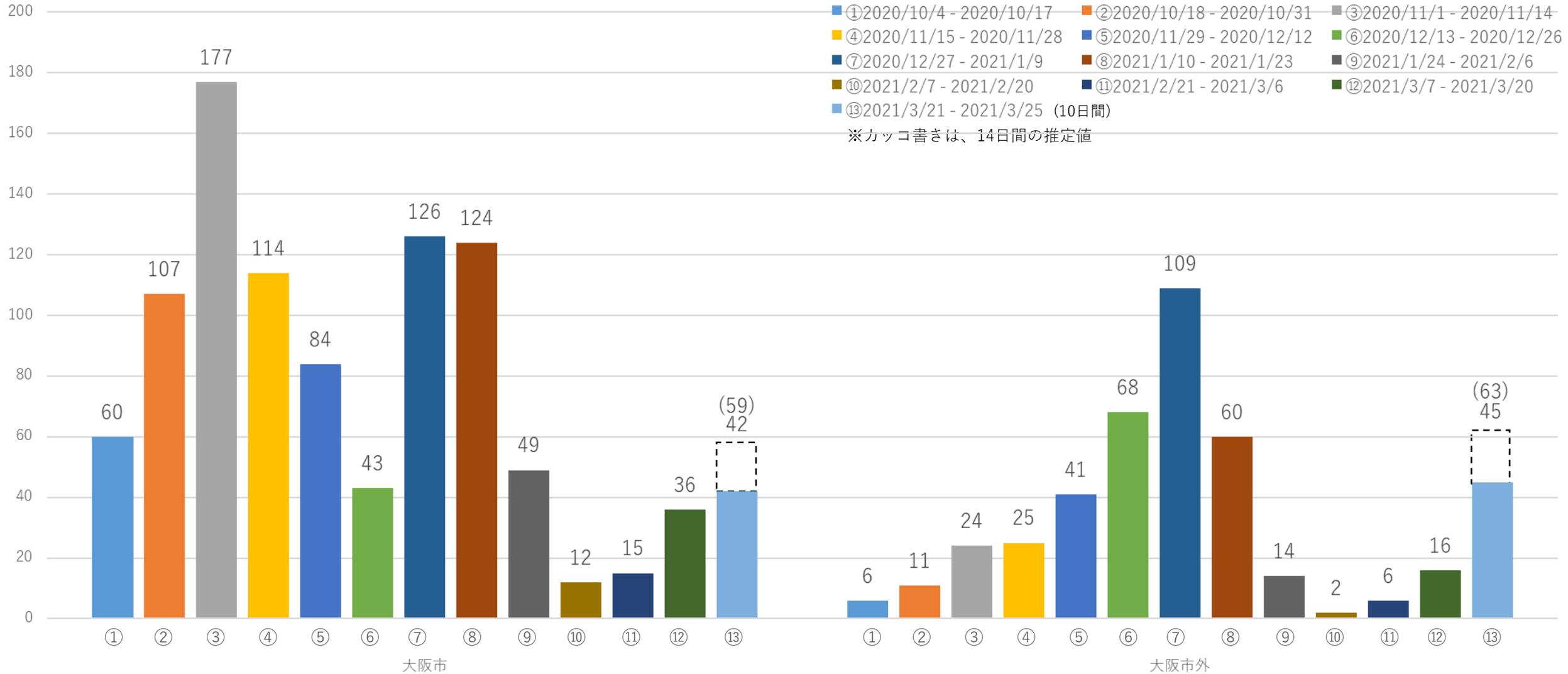
夜の街の滞在エリア別の状況

(10月4日以降3月30日までに判明した3,190事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

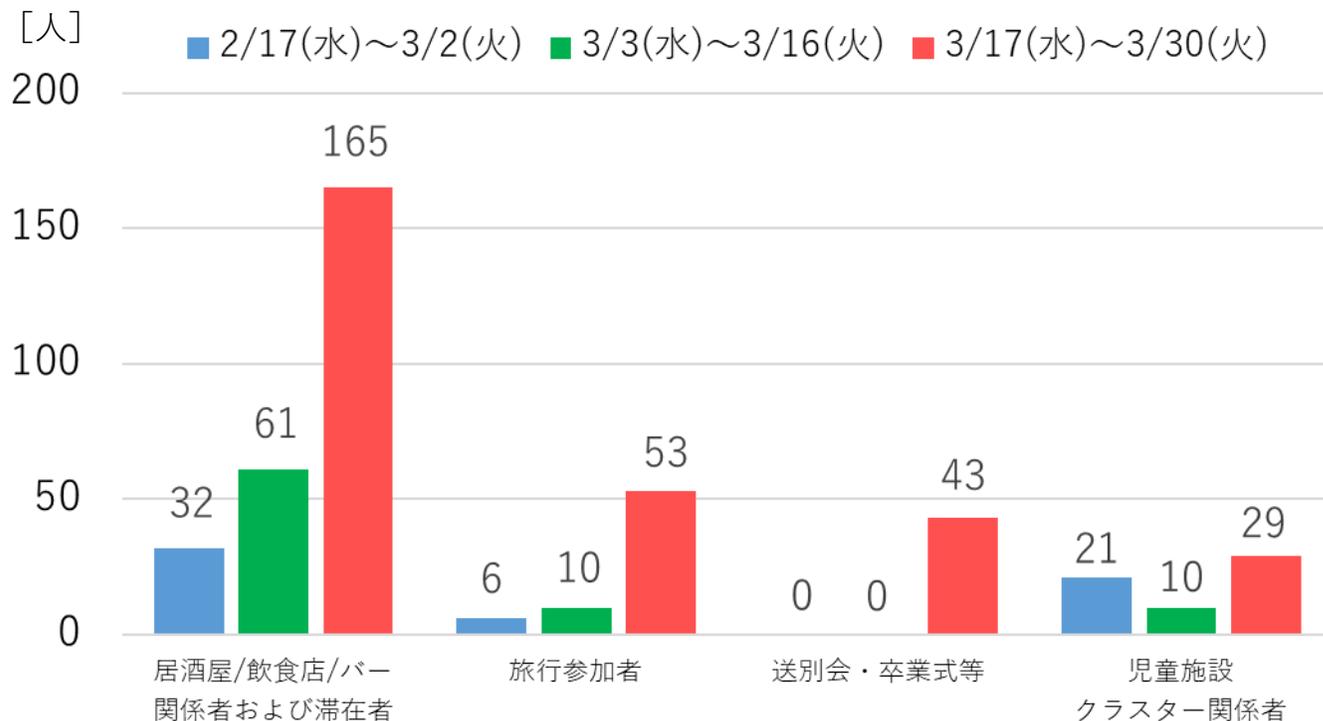
(10月4日以降3月30日までに判明した3,190事例の状況)



感染状況の特徴

- ◆夜の街関連のうち、居酒屋・飲食店・バーの関係者及び滞在者における感染が増加。
- ◆総数は少ないが、旅行参加歴がある感染者も増加傾向。 ※店の種別は、本人からの聞き取り情報による
- ◆3月後半には、年中行事である送別会や卒業式に参加したエピソードをもつ陽性者が発生。
- ◆児童施設におけるクラスターが発生し、児童の家族へ感染が拡大。

● 状況別の陽性者



※店の種別は、本人からの聞き取り情報による

● 感染に関するエピソード

	感染に関するエピソード	リスク要因のキーワード ※聞き取りの状況から推定されたもの (感染源として確定されたものではない)
夜街	<ul style="list-style-type: none"> 常連客のみに限定して開店 カラオケ設備のある飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> 換気不十分 飲食をしながらの会話 長時間の発話
会食	<ul style="list-style-type: none"> 親しい人同士で会食 (10人程度) 個室を貸切で利用 	<ul style="list-style-type: none"> 換気不十分 飲食をしながらの会話 マスク不着用
送別会 卒業式	<ul style="list-style-type: none"> 職場やサークルにおける送別会の開催 卒業式後の飲み会 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食をしながらの会話 多人数での集まり 長時間の発話
旅行	<ul style="list-style-type: none"> 卒業旅行 出張 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域をまたいだ移動
児童施設	<ul style="list-style-type: none"> 複数の施設に勤務する職員 職員から児童、児童から児童の家族へ感染拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 接触者の増加 世代を超えた感染拡大

クラスターの発生状況（3月30日時点）

第一波のクラスターの発生状況 （1月29日以降6月13日まで）

	発表名称	件数	陽性者数
1	ライブ参加者	4施設	48
2	大学の関係者	1大学	8
3	医療機関関連	6機関	284
計			340

第二波のクラスターの発生状況 （6月14日以降10月9日まで）

	発表名称	件数	陽性者数
1	飲食店関連	5店	45
2	大学・学校関連	3校	48
3	医療機関関連	10機関	295
4	施設関連	23施設	389
5	その他	4件	63
計			840

第三波のクラスターの発生状況 （10月10日以降2月28日まで）

	発表名称	件数	陽性者数
1	飲食店関連	8店	82
2	大学・学校関連	30校	439
3	医療機関関連	61機関	2,074
4	施設関連	137施設	2,496
5	その他	59件	594
計			5,685

第四波のクラスターの発生状況 （3月1日以降3月30日まで）

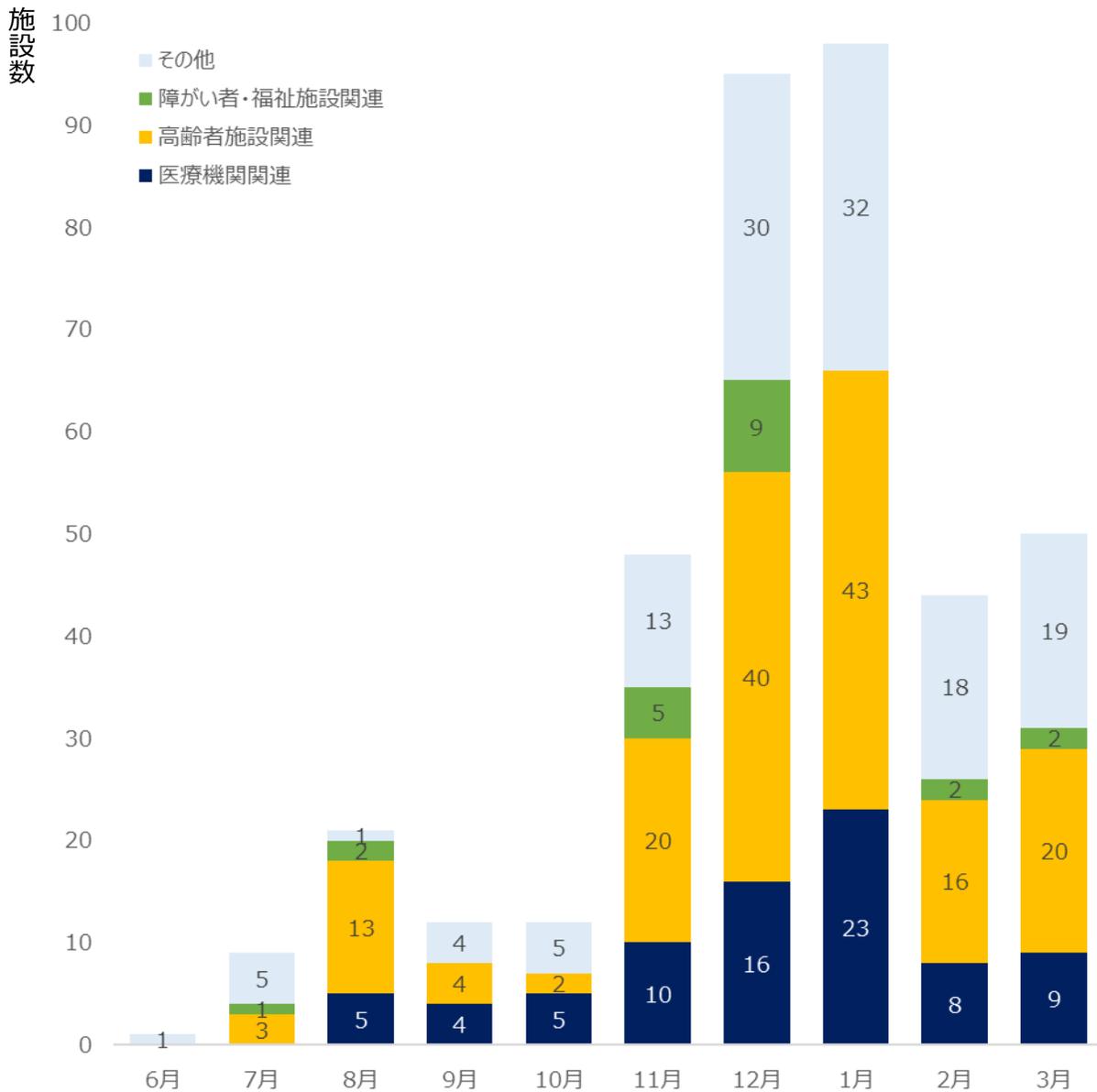
	発表名称	件数	陽性者数
1	飲食店関連	2店	19
2	大学・学校関連	5校	58
3	医療機関関連	9機関	143
4	施設関連	22施設	298
5	その他	12件	107
計			625

クラスターにおける陽性者数の割合

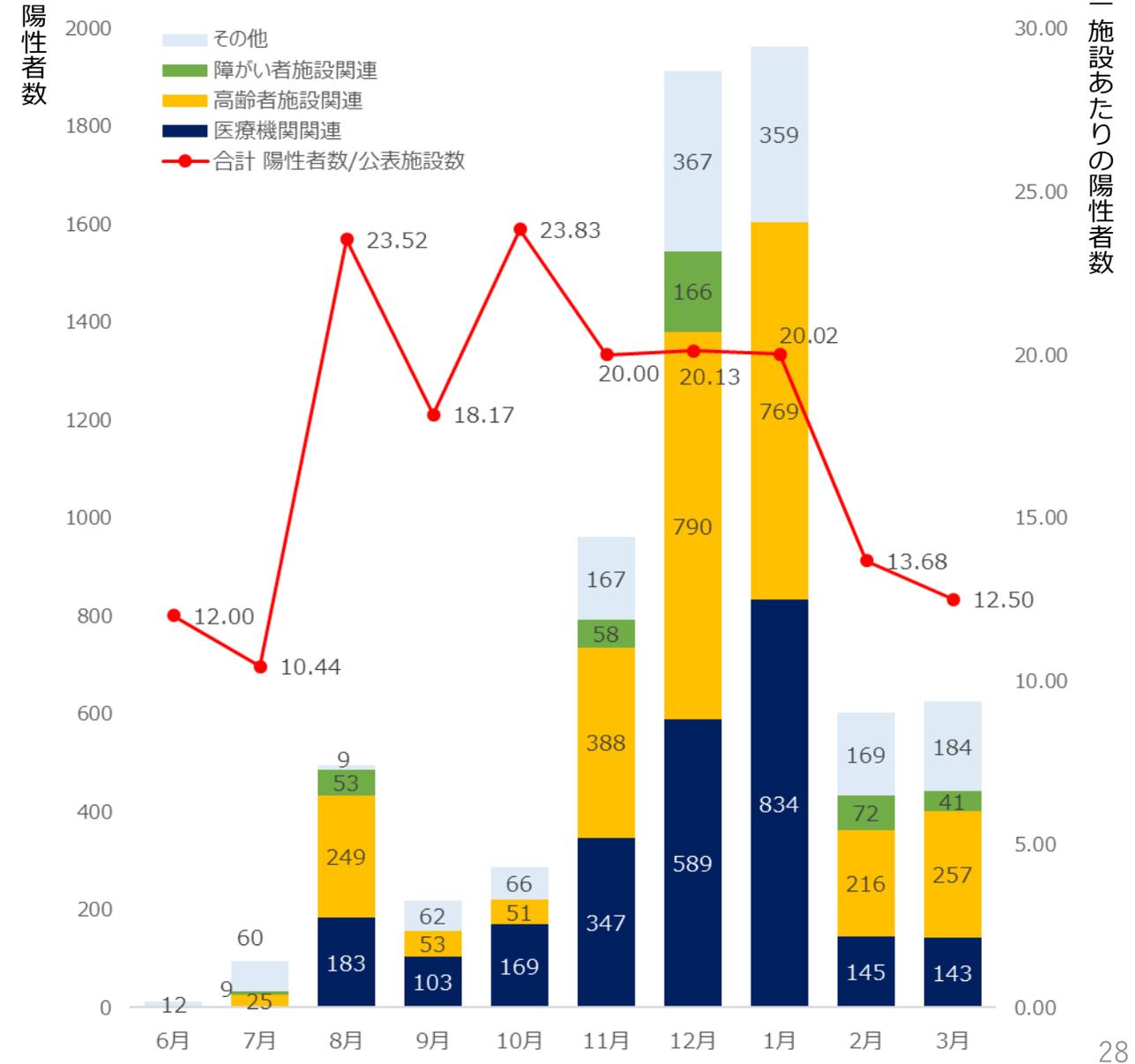
	第一波	第二波	第三波	第四波
クラスターにおける陽性者数	340	840	5,685	625
全陽性者数	1,786	9,271	36,065	4,480
割合	19.0%	9.1%	15.8%	14.0%

クラスターの発生状況 (3月30日時点)

公表月別クラスター施設数



公表月別クラスター内陽性者数



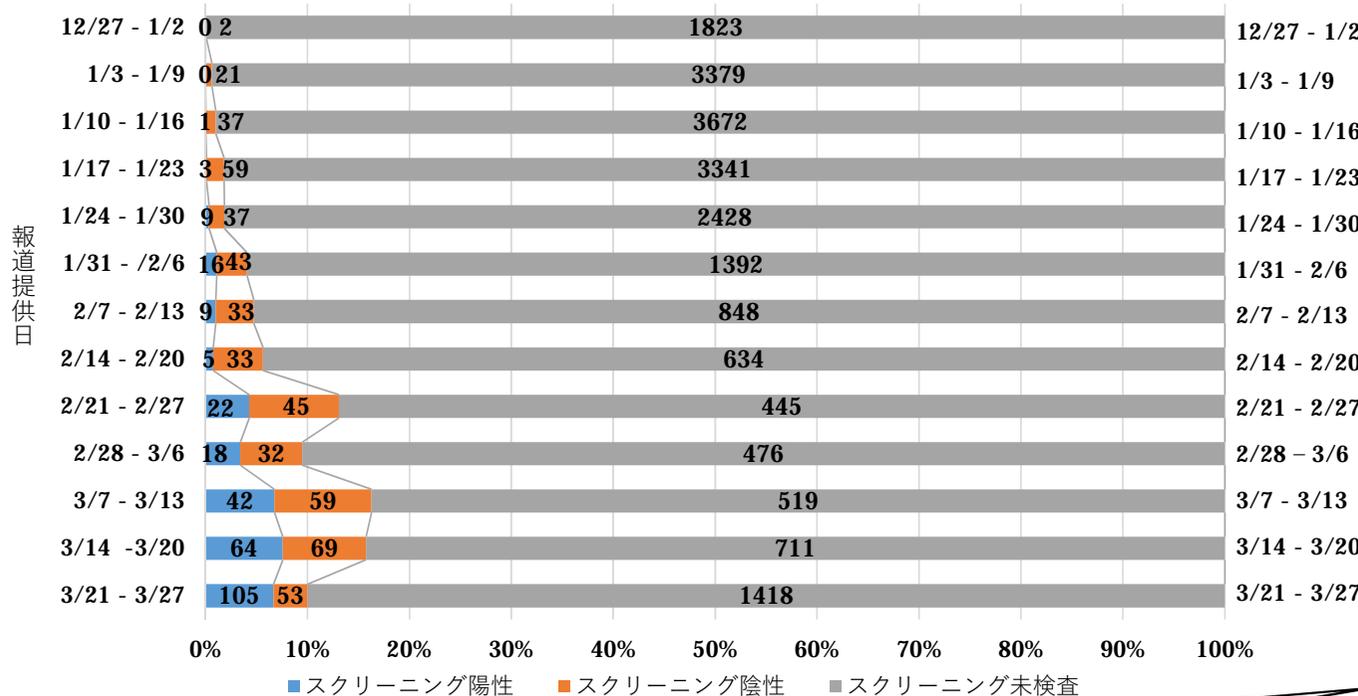
変異株PCR検査（スクリーニング検査）における陽性判明率

資料 1 - 2

2月下旬から、府内の新規陽性者のうち、数%が変異株であることが判明している

大阪府における変異株PCR検査の体制

- ◆ 変異株の全国的感染拡大を受けて、1/20より変異株PCR検査（スクリーニング検査）を実施。順次、検査の実施機関数を拡充し、体制を強化
- ◆ 現在、週あたり最大350件程度を実施
大阪健康安全基盤研究所（1/20～）、民間検査会社1カ所（2/12～）、民間医療機関2カ所（3/2～）



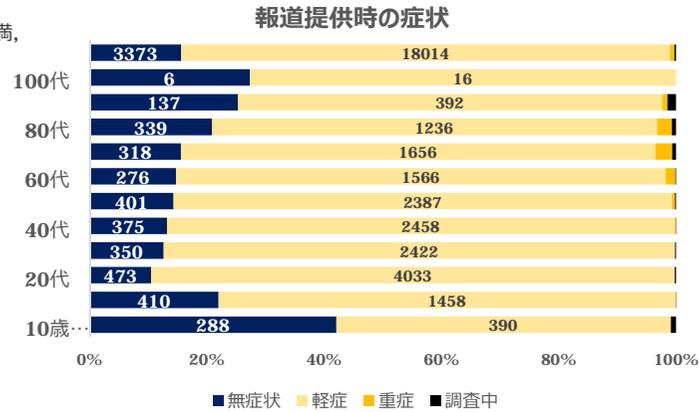
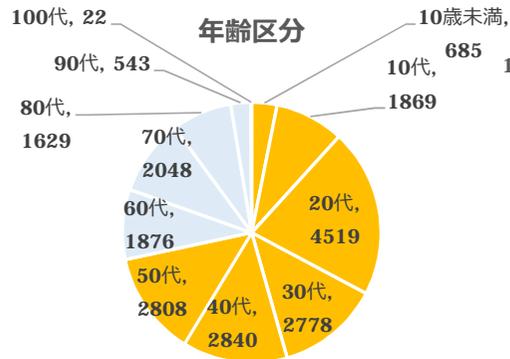
新規陽性者数 (a)	変異株PCR検査数 (b) ※1 [検査率 [b/a*100]]	変異株PCR陽性者数 (c)	変異株PCR検査陽性率 [c/b*100] ※3	変異株PCR陽性判明率 [c/a*100]
1,825	2 [0.1%]	0	0.0%	0.0%
3,400	21 [0.6%]	0	0.0%	0.0%
3,710	38 [1.0%]	1	2.6%	0.0%
3,403	62 [1.8%]	3	4.8%	0.1%
2,474	46 [1.9%]	9	19.6%	0.4%
1,451	59 [4.1%]	16	27.1%	1.1%
890	42 [4.7%]	9	21.4%	1.0%
672	38 [5.7%]	5	13.2%	0.7%
512	67 [13.1%]	22	32.8%	4.3%
526	50 [9.5%]	18	36.0%	3.4%
620	101 [16.3%]	42	41.6%	6.8%
844	133 [15.8%]	64	48.1%	7.6%
1,576	158 [10.0%]	105	66.5%	6.7%
累計	817	294 ※2	36.0%	
(左記以外)	(584)	(66)	(11.3%)	

下記以外の人を集計
 ・変異株陽性者の濃厚接触者や接触の可能性がある人
 ・変異株が確認されている国・地域への渡航歴がある人

※1 変異株PCR検査数は、大阪府内の機関で実施したものを集計
 ※2 別途、厚生労働省が実施した検査で25人が陽性判明
 ※3 変異株陽性者の濃厚接触者や接触の可能性がある人は、検体が残存している場合は、全件を検査対象としているため、陽性率は高くなる傾向

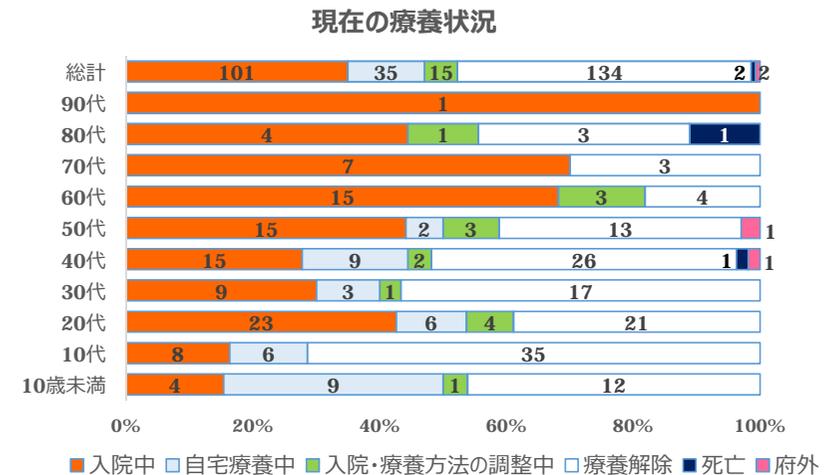
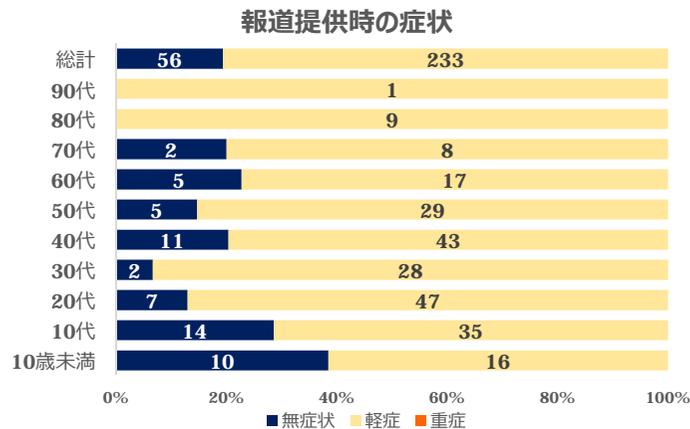
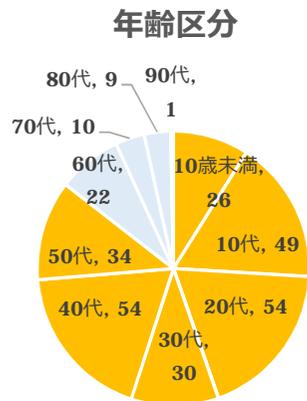
変異株スクリーニング陽性患者の療養状況（令和3年3月30日時点）

第三波（1月1日以降公表分）の陽性者（N = 21,614）の療養状況



- 40代以上の陽性者に占める重症者の割合
5.2% (612/11,764)
- 60代以上の陽性者に占める重症者の割合
8.2% (502/6,116)
- 全陽性者数に占める重症者の割合
2.9% (621/21,614)

変異株スクリーニング陽性事例（N = 289）の療養状況

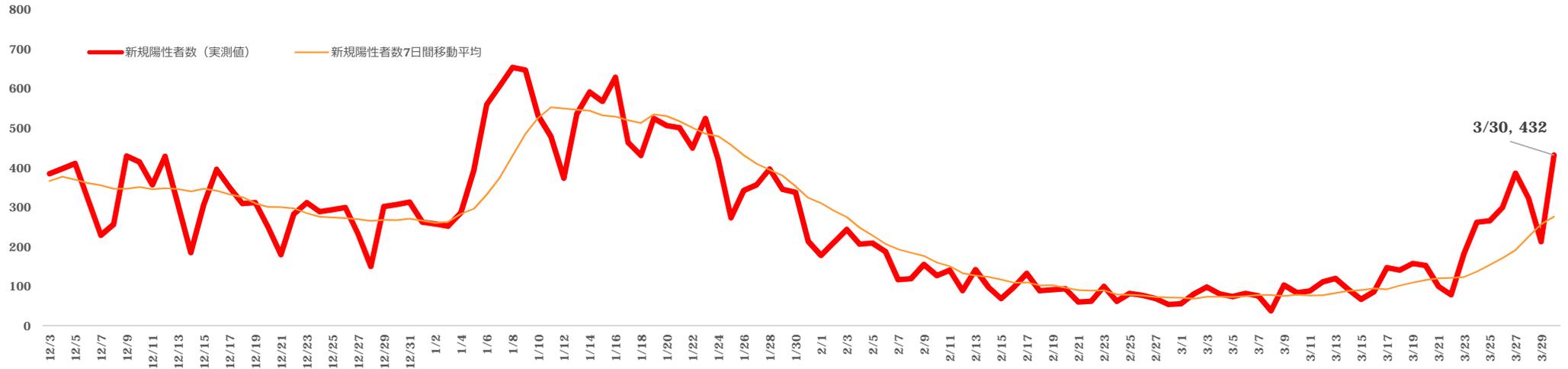


289名中重症化した者は16名(現在は軽症化や療養解除となった者含む)

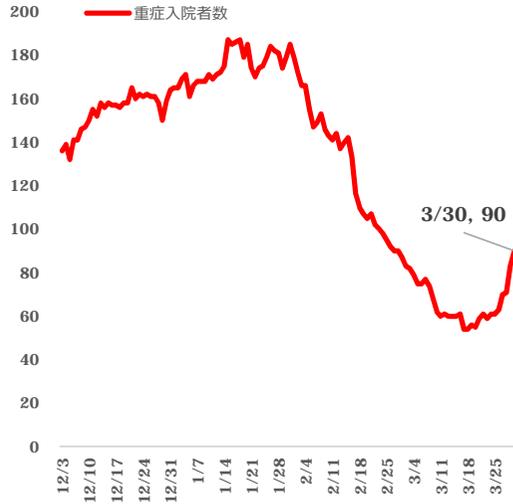
変異株スクリーニング陽性事例の母数が少ないことから、既存株の重症率等について、単純比較は困難である。

新規陽性者数と入院・療養者数 (3月30日時点)

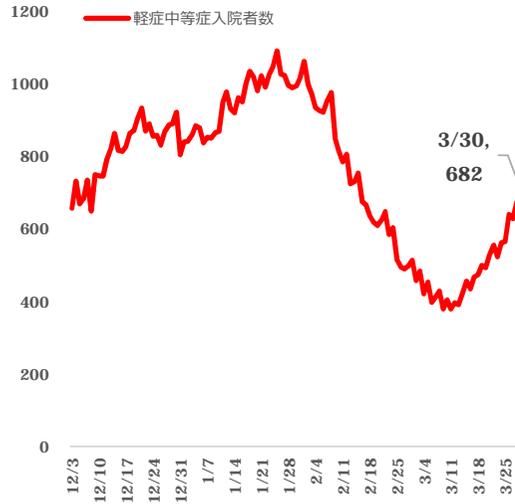
資料 1 - 3



入院患者 (重症)



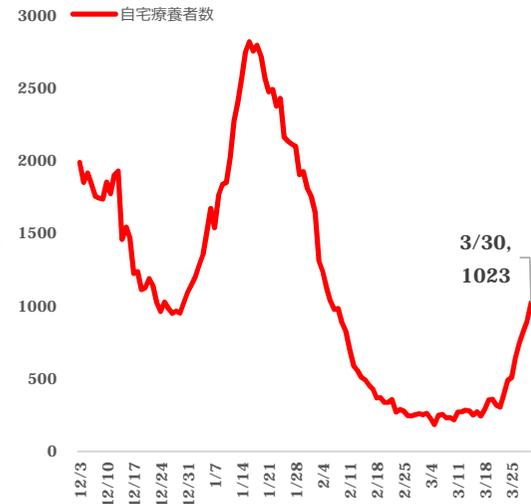
入院患者 (軽症中等症)



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況(3月30日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数224床	確保数1,766床	2,416室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 1,023人)		90人	682人	653人
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)		40.2% (90/224)	38.6% (682/1,766)	27.0% (653/2,416)
(運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)		54.5% (90/165) うち、大阪コロナ重症センター (8/22)	48.0% (682/1,422)	50.7% (653/1,288)

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

3月30日現在 **病床運用率54.5%**

運用病床数 **165床**

入院患者数 **90人**

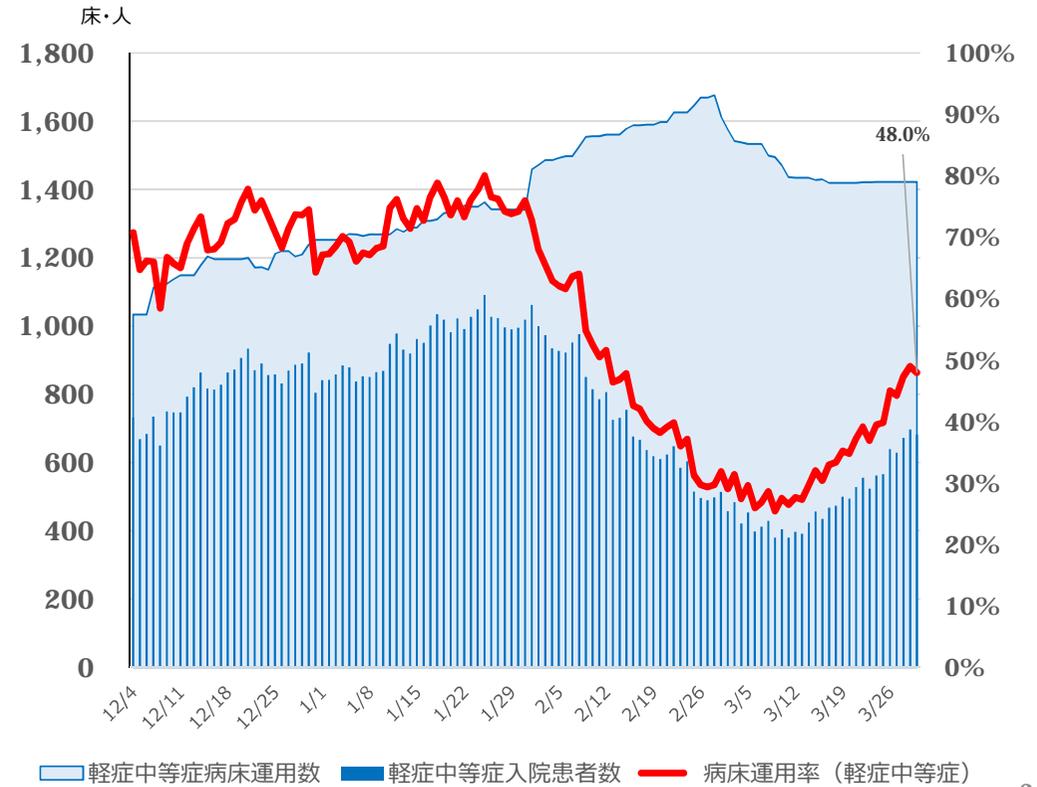
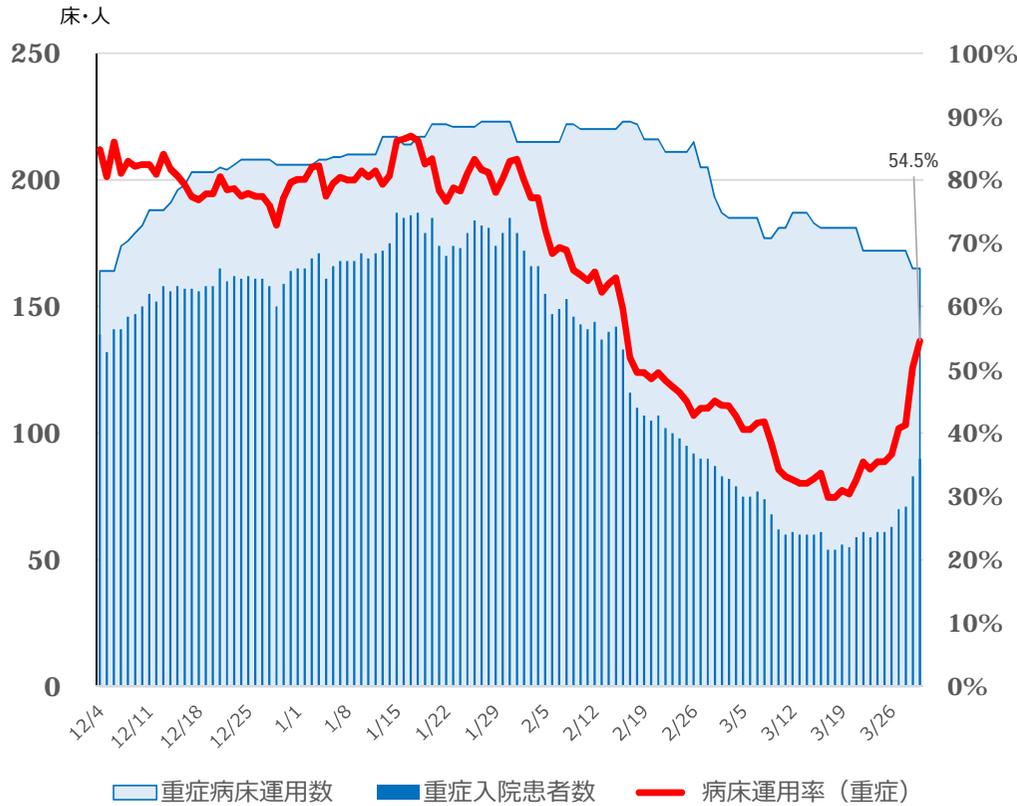
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

3月30日現在 **病床運用率48.0%**

運用病床数 **1,422床※**

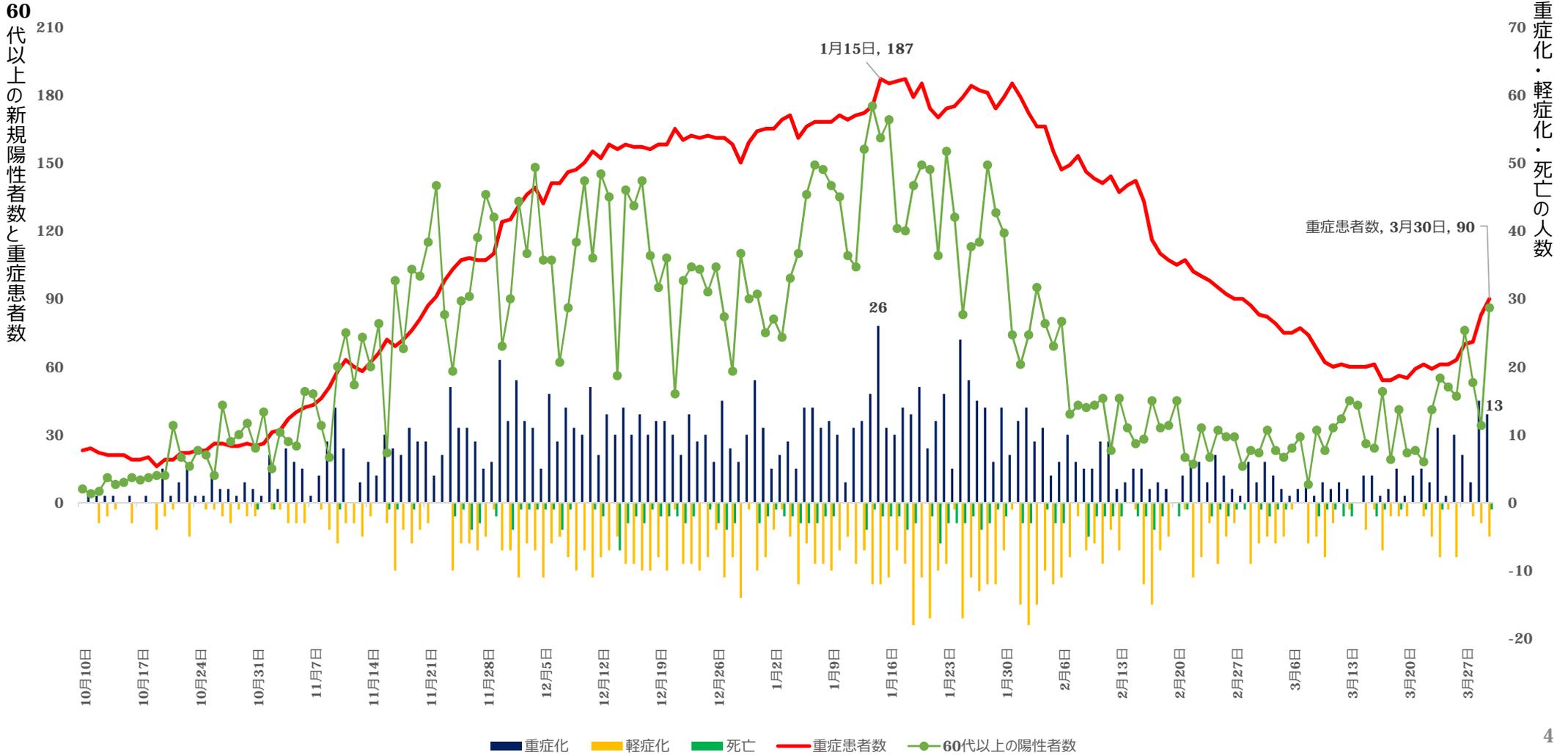
入院患者数 **682人**

※小児・精神患者用病床等約75床含んでおり、
一般患者に限ると病床利用率はより高くなっている。

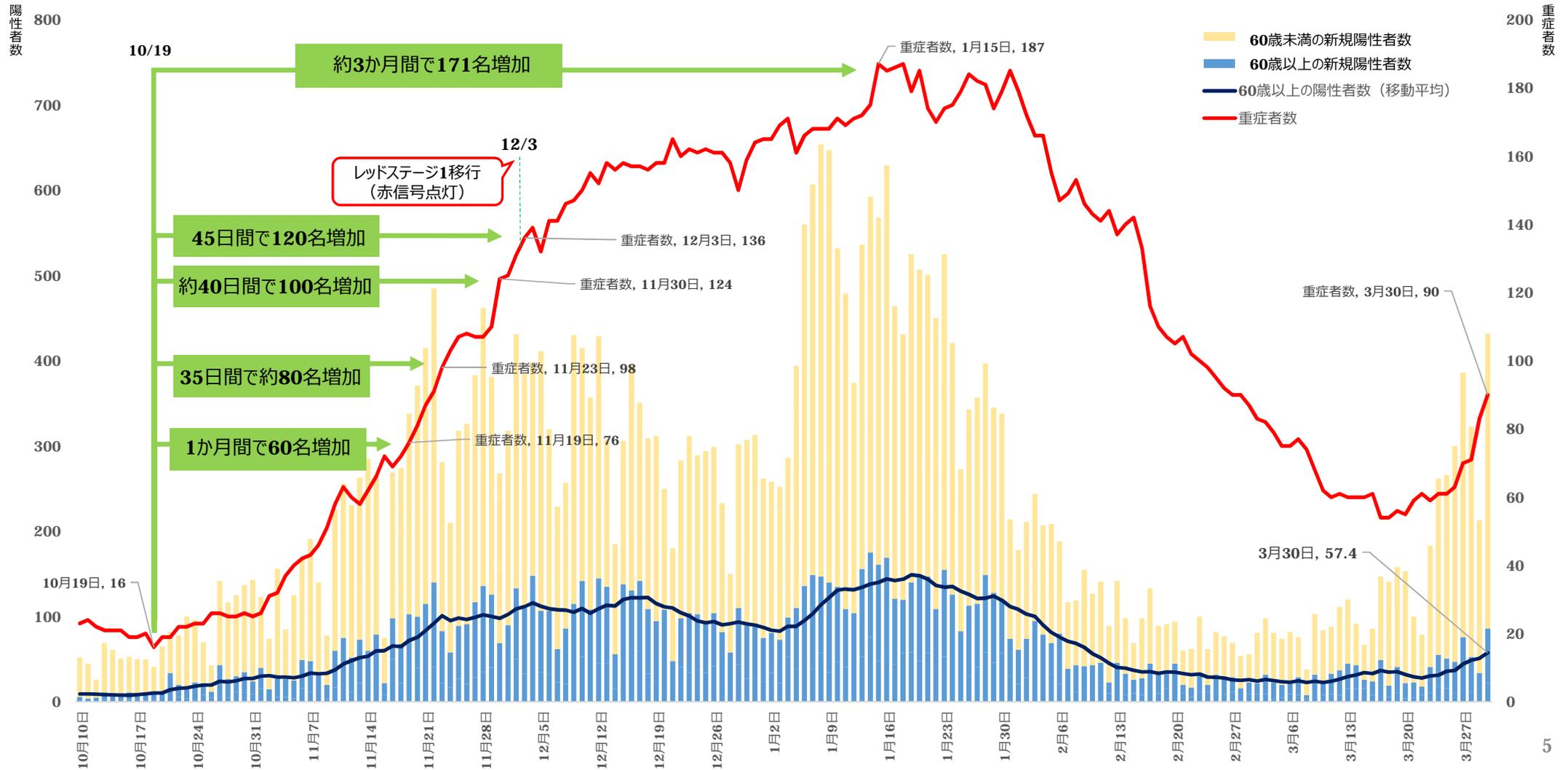


新規陽性者数と重症者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）



第三波の重症者数と60歳以上の陽性者数の推移



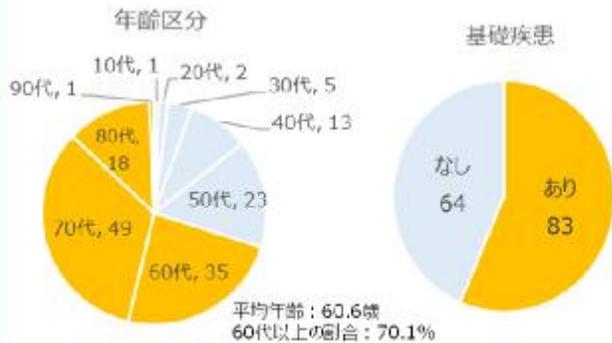
重症者のまとめ（令和3年3月25日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
重症者数	147
死亡	47
退院・解除	100
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

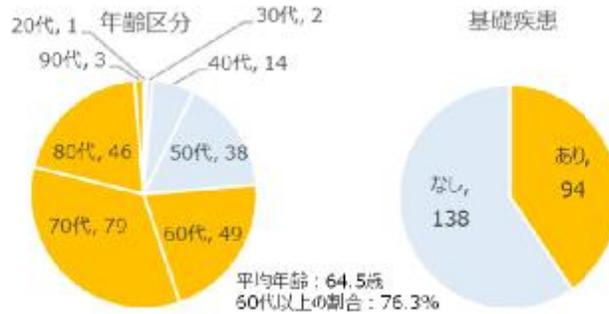
40代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.2%(139/1,054)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：21.1%(103/489)
 全陽性者数に占める重症者の割合：8.2%(147/1,786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
重症者数（※）	232
死亡	39
退院・解除	193
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

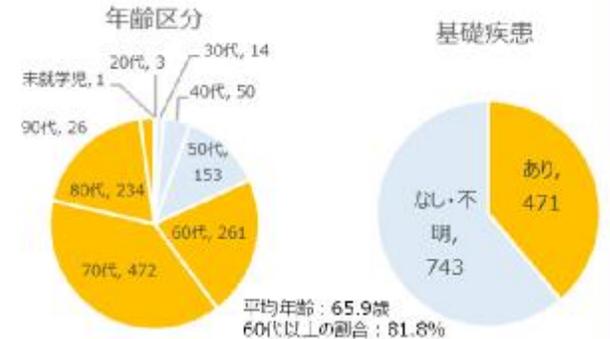
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が7例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.7%(229/4,012)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.8%(177/1,805)
 全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(232/9,271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	38,891
(再掲)40代以上(割合)	22,168(57.0%)
(再掲)60代以上(割合)	11,546(29.7%)
重症者数（※）	1,214
死亡	228
退院・解除	868
入院中（軽症）	57
入院中（重症）	61

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.4%(1,196/22,168)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.6%(993/11,546)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.1%(1,214/38,891)



重症の定義：「重症病床におけるICU入室、挿管、人工呼吸器装着、ECMO使用」のいずれかとした。

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波は第二波に比べ、40代以上、60代以上いずれも重症化率は減少しているが、全陽性者に占める重症化率は第二波より高い。

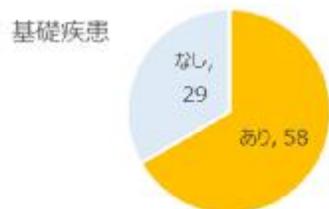
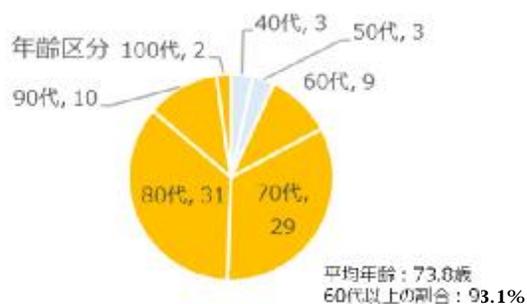
死亡者のまとめ（令和3年3月25日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
死亡者数	87

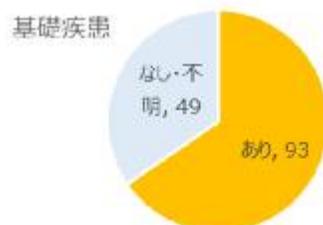
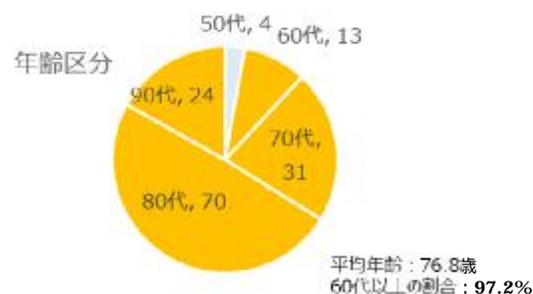
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：8.3%(87/1,054)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：16.6%(81/489)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：4.9%(87/1,786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
死亡者数	142

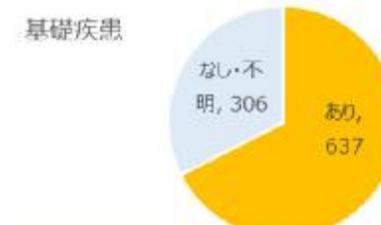
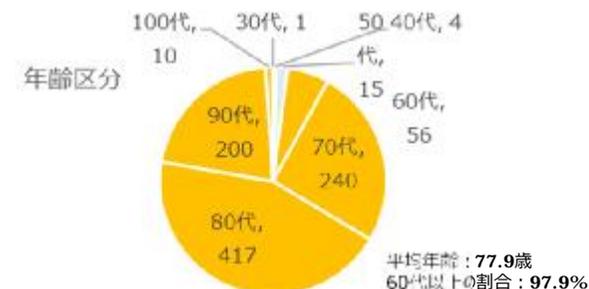
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.5%(142/4,012)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：7.6%(138/1,805)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.5%(142/9,271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	38,891
(再掲)40代以上(割合)	22,168(57.0%)
(再掲)60代以上(割合)	11,546(29.7%)
死亡者数	943

40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：4.2%(942/22,168)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：8.0%(923/11,546)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：2.4%(943/38,891)

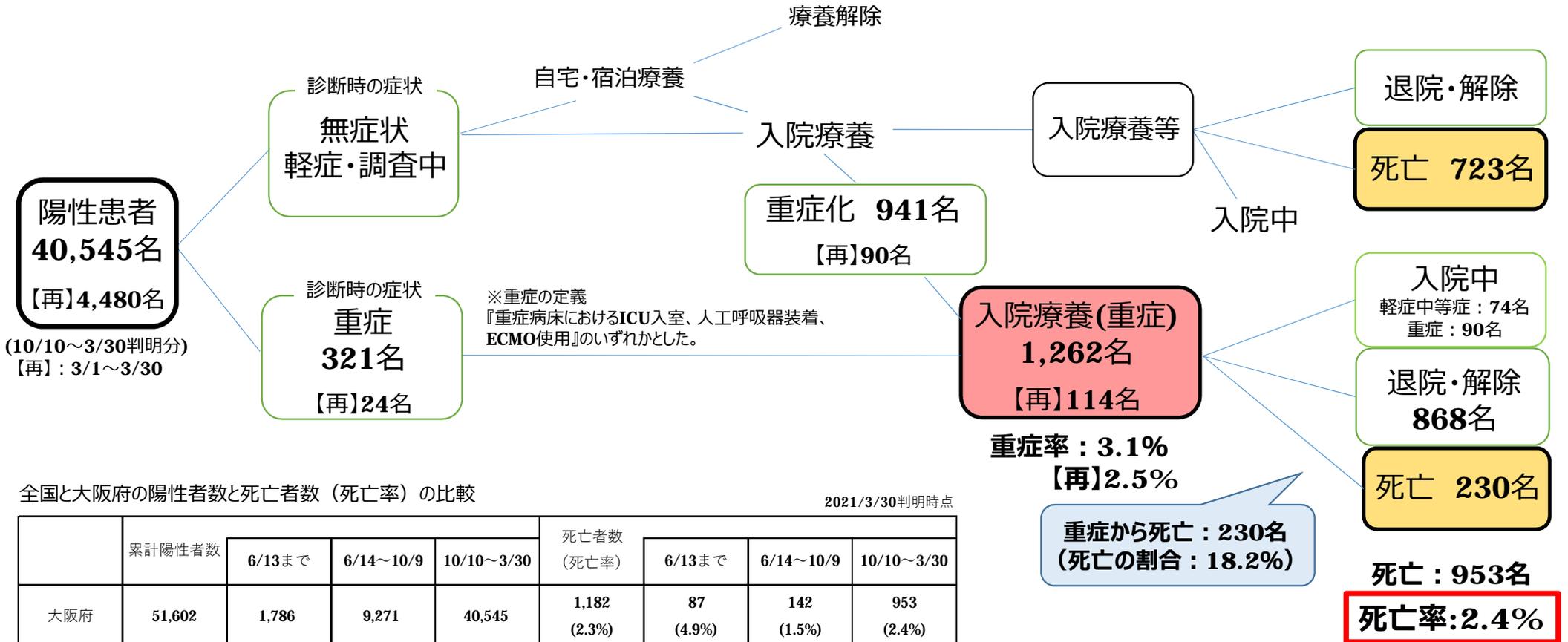


基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

【10/10以降】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年3月30日時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過 （3月1日以降判明分を再掲）



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/3/30判明時点

	累計陽性者数	陽性者数			死亡者数 (死亡率)	死亡者数		
		6/13まで	6/14～10/9	10/10～3/30		6/13まで	6/14～10/9	10/10～3/30
大阪府	51,602	1,786	9,271	40,545	1,182 (2.3%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	953 (2.4%)
全国	467,786	17,179	70,012	380,595	9,083 (1.9%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	7,460 (2.0%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（3/29の各自治体公表資料集計分）より集計。

新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

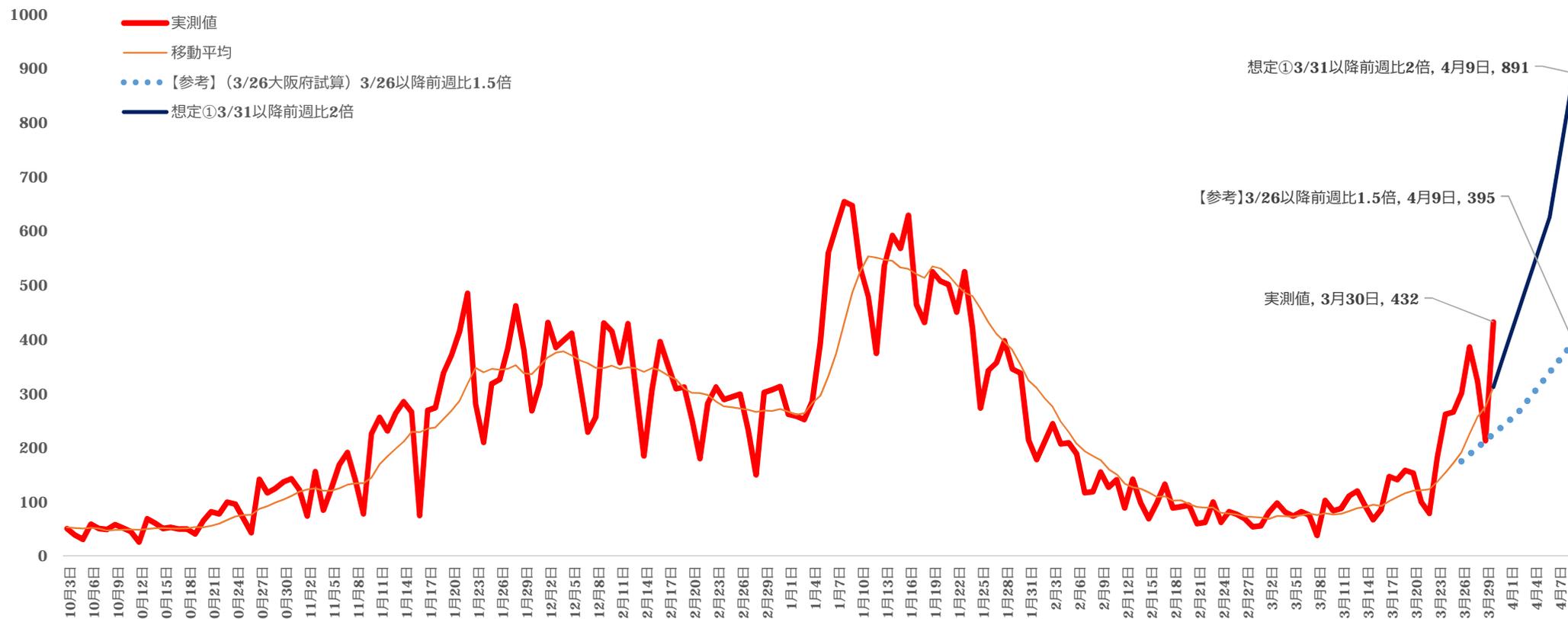
資料 1 - 4

■ 以下の想定でシミュレーションを実施。

想定①：3/31以降、前週増加比2.0倍で増加する場合（参考：3/30時点の新規陽性者7日間移動平均の前週増加比が2.2倍）

【参考】3/26以降、前週増加比1.5倍で増加する場合（第41回本部会議資料（資料1-4）と同じ設定）

患者発生シミュレーション



療養者数のシミュレーション

■ 以下の想定で療養者数のシミュレーションを実施。
 想定①：3/31以降、前週増加比2.0倍で増加する場合
 【参考】3/26以降、前週増加比1.5倍で増加する場合
 (第41回本部会議資料(資料1-4)と同じ設定)

【陽性者数の設定の考え方】

- 新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18% (※1)と設定。
- 新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を24% (※1)と設定。
- ※1：3月30日時点の新規陽性者中の割合(7日間)

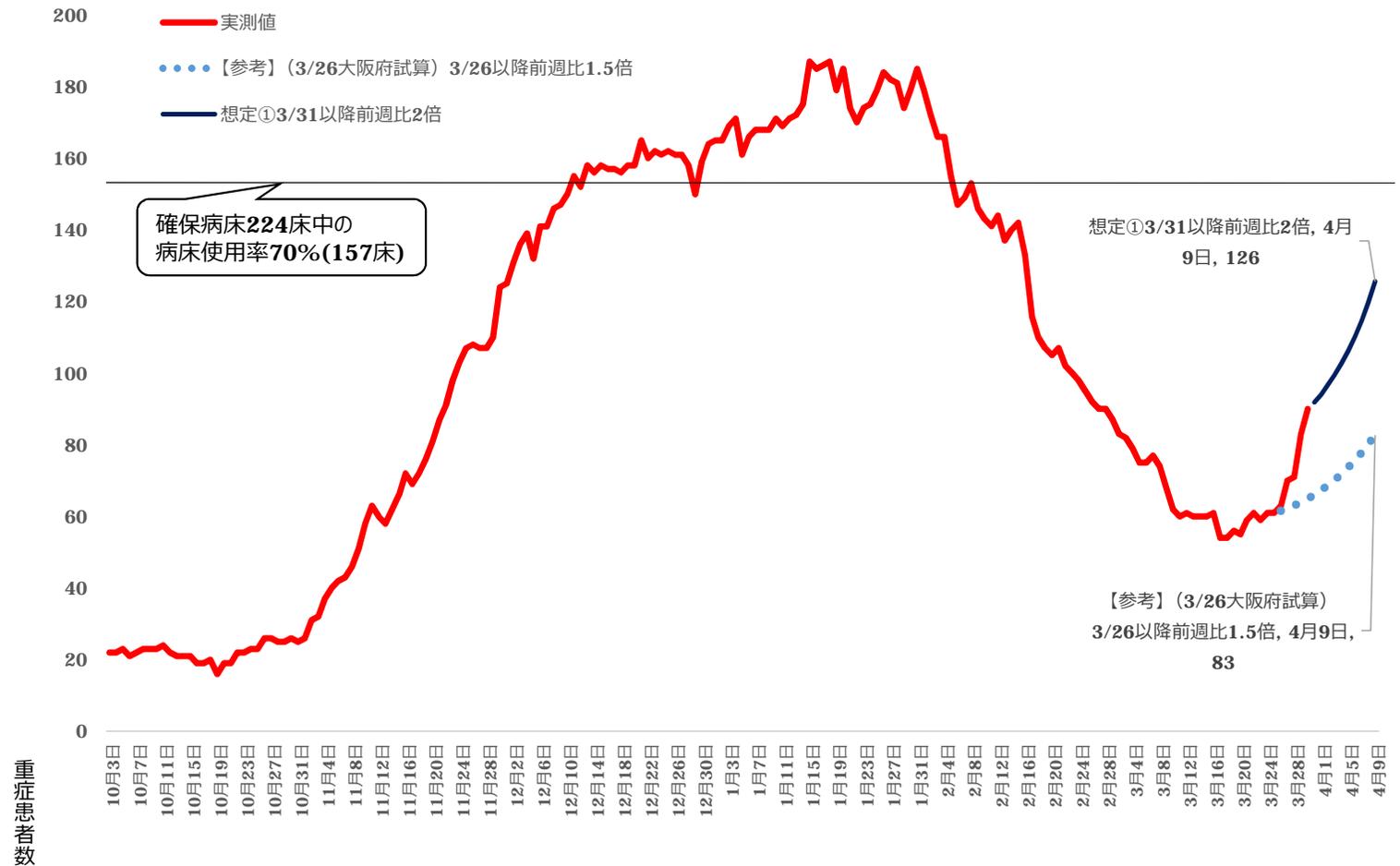
【重症率の設定の考え方】

- 60代以上の新規陽性者の重症率は8.6%(※2)と設定。
- 40代・50代の新規陽性者の重症率は1.9%(※2)と設定。
- ※2：第三波(10/10~3/25)における重症率

【療養方法と期間の設定の考え方】

- 重症患者以外の陽性者のうち、23.4%は入院療養、40.1%は宿泊療養、36.5%は自宅療養となる。(第三波(12/21時点)実測値)
- 重症以外の入院療養者は約12日後に退院する。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除となる。(第三波(12/21時点)実測値)

入院患者数(重症)シミュレーション



<新規陽性者の発生動向>

(1) 大阪府の発生動向

- 2週間で7日間毎の新規陽性者数は約3.4倍増加し、**第三波を大きく上回るスピードで感染が急拡大**。一日平均は約312名。
新規陽性者に占める20・30代新規陽性者数の割合が6割弱まで急増し、60代以上も増加し続けていることから、今後の急激な感染拡大と、その後の医療提供体制のひっ迫の可能性が高まっている。
- **3月29日に、陽性率を除く分科会指標ステージⅢの基準を超え、まん延防止等重点措置適用の主な指標**（病床占有率、直近人口10万人あたり新規陽性者数、前週増加比）を満たしている。
感染規模については、緊急事態措置適用の目安の一つとなるステージⅣの基準を31日に超過する見込み。

(2) 市内・市外居住者の発生動向（週・人口10万人あたり）

- 週・人口10万人あたり新規陽性者数も、市内外居住者ともに増加しており、**市内は分科会指標ステージⅣの基準25人以上を大きく上回り、市外もステージⅢの基準15人を上回っている。**
- **年代別では、10代から30代までの若者が急増。その他年代も市内外ともに増加。**
- **感染経路不明者の割合については、市内居住者が6割強と依然高く、市外も5割を超過。市内外ともに市中感染が拡大している。**

(3) 夜の街関連等の発生動向

- **新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者も増加し、特に居酒屋・飲食店が増加。また、滞在エリアとしては、市内外ともに増加。特に市外で急増している。**
- **旅行参加者や送別会・卒業式等の年中行事参加のエピソードを持つ陽性者が多数発生している。**

(4) 変異株の状況

- **変異株PCR検査陽性率は36.0%**（変異株PCR検査件数817件、変異株PCR陽性者数294人）であり、変異株陽性者の濃厚接触者や接触可能性のある人等を除けば、**11.3%**（変異株PCR検査件数584件、変異株PCR陽性者数66人）と、**3月20日時点の5.3%から増加。**

※別途、国が実施した検査で⑤人が陽性判明

なお、**直近1週間の変異株PCR陽性判明率は6.7%**（新規陽性者1,576人、変異株PCR陽性者数105人）となっている。

感染状況と医療提供体制の状況について

<医療提供体制の状況>

- **重症病床使用率が4割を超過し、重症病床、軽症中等症病床、宿泊療養施設部屋数運用率いずれも5割程度**となり、医療提供体制に負荷が大きくかかり始めている。
現在、1日10名程度の重症者が出ていることから、**重症病床使用率は遅くとも4月中旬から下旬に大阪モデルの非常事態基準70%を超過する恐れ**がある。

今後の対応方針について

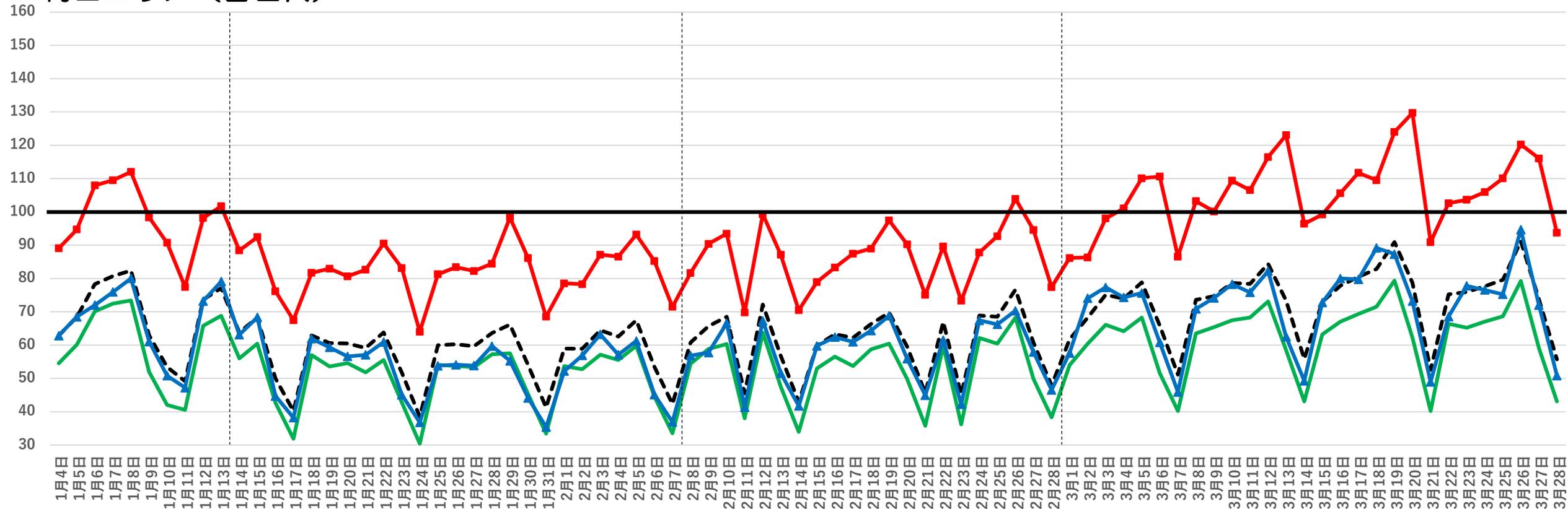
- 年末年始の感染急拡大をさらに大きく上回る速度で感染が急拡大し、新規陽性者に占める若者が6割弱であることから、他の年代への感染が広がり、当面はさらに感染拡大がすすむものと考えられる。
60代以上の新規陽性者数が増加しており、さらなる感染拡大によって、医療提供体制が早晚、ひっ迫する恐れが強く、4月中に大阪モデルの非常事態（医療非常事態宣言）となる可能性が高まっている。
分科会指標は、既にまん延防止等重点措置適用の目安となるステージⅢの基準を超え（陽性率を除く）ている状況。
これらの状況を踏まえ、これまで以上に強い措置の検討により、医療提供体制のひっ迫を防ぐための取組みが必要。
- なお、当面、医療提供体制への大きな負荷が想定されることから、患者受入医療機関に対し、「フェーズ4 - 2」への移行を3月31日付で要請しており、**緊急事態に備えた医療提供体制の確保に努める。**

夜間（18時～24時）における人口増減状況

資料1-6

梅田エリア（各世代）

--- 全世代① —●— 30代以下② —■— 40代・50代③ —▲— 60代以上④



梅田エリア

※エリア人口の指数

緊急事態宣言時（令和2年4月7日「夜間18時～24時」）を100とした指数で表示
18:00～24:00の間に30分以上の滞在をカウント

【出典：ヤフー・データソリューション】

緊急事態措置（延長前）

(1/14～2/7)

①57.29 ②82.18
③49.92 ④52.83

緊急事態措置（延長後）

(2/8～2/28)

①60.64 ②86.32
③52.36 ④57.73

解除後（時短要請）

(3/1～)

①73.54 ②105.60
③62.34 ④71.63

緊急事態措置（延長前）比

①5.8%増	②5.0%増
③4.9%増	④9.3%増

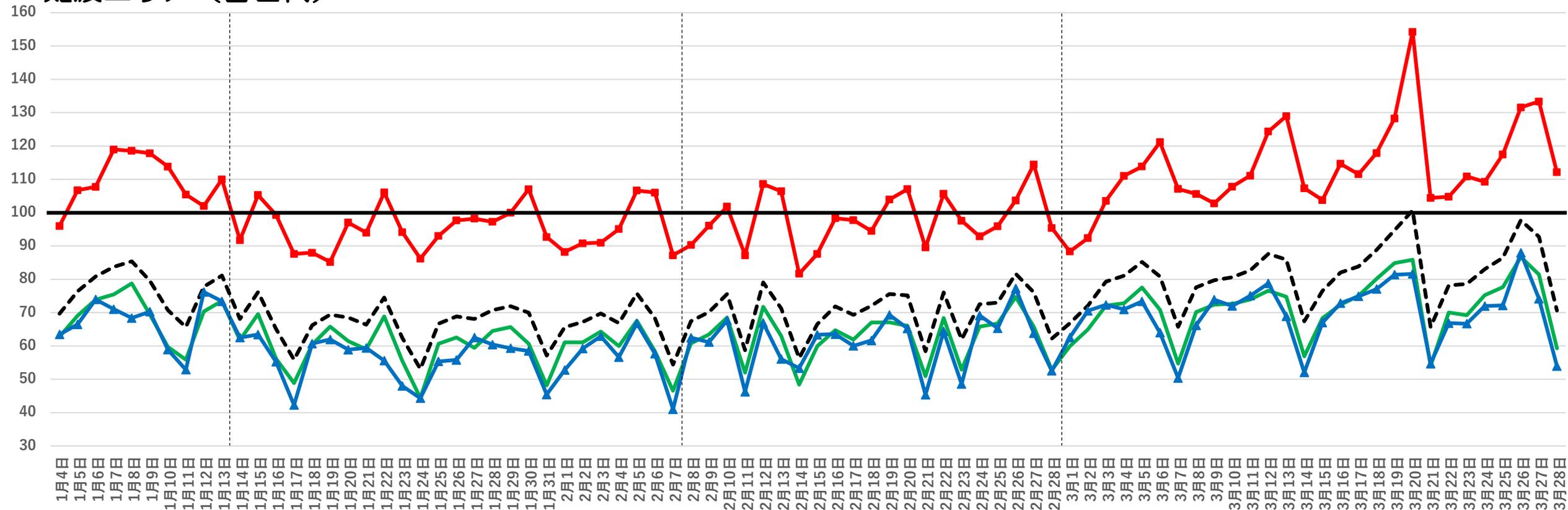
緊急事態措置（延長前）比

①28.4%増	②28.5%増
③24.9%増	④35.6%増

夜間（18時～24時）における人口増減状況

難波エリア（各世代）

--- 全世代① —●— 30代以下② —■— 40代・50代③ —▲— 60代以上④



難波エリア

緊急事態措置（延長前）

(1/14～2/7)

①66.68 ②95.41
③59.69 ④56.26

緊急事態措置（延長後）

(2/8～2/28)

①70.05 ②97.92
③62.50 ④61.11

解除後（時短要請）

(3/1～)

①81.14 ②113.55
③71.80 ④69.79

緊急事態措置（延長前）比	
①5.1%増	②2.6%増
③4.7%増	④8.6%増

緊急事態措置（延長前）比	
①21.7%増	②19.0%増
③20.3%増	④24.1%増

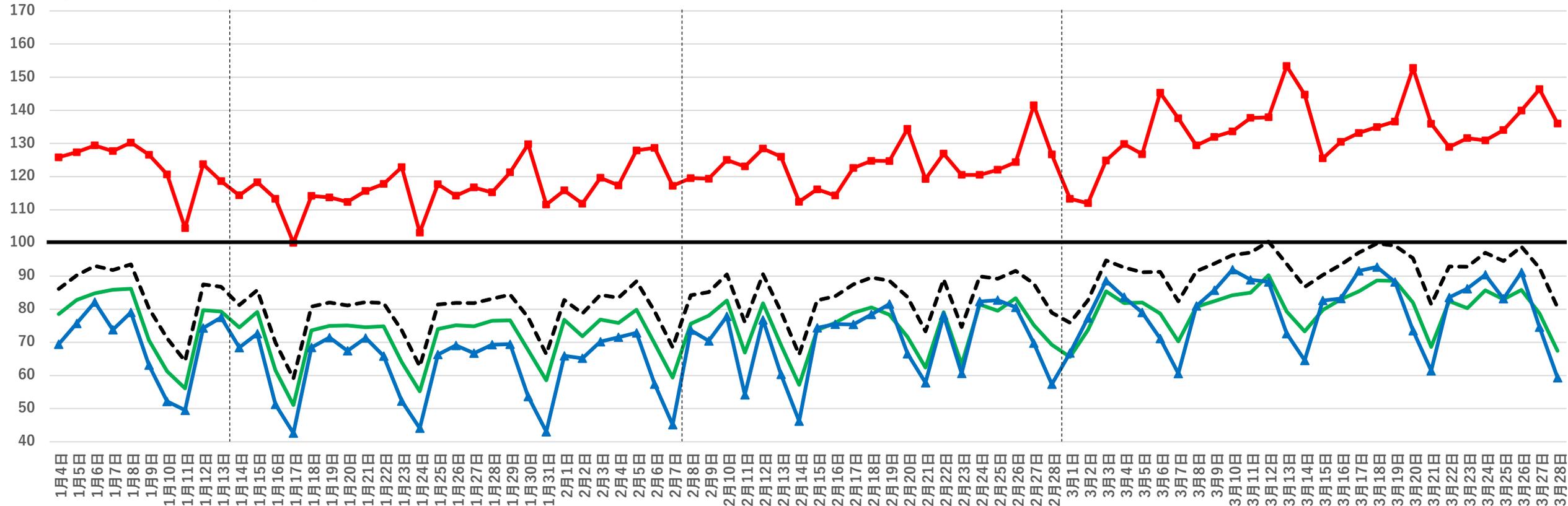
※エリア人口の指数

緊急事態宣言時（令和2年4月7日「夜間18時～24時」）を100とした指数で表示
18:00～24:00の間に30分以上の滞在をカウント

【出典：ヤフー・データソリューション】

昼間（12時～18時）における人口増減状況

梅田エリア（各世代） --- 全世代① --- 30代以下② --- 40代・50代③ --- 60代以上④



緊急事態措置（延長前）

(1/14~2/7)

①178.50 ②116.43

③70.87 ④62.47

緊急事態措置（延長後）

(2/8~2/28)

①83.91 ②123.46

③74.46 ④70.51

解除後（時短要請）

(3/1~)

①91.98 ②134.13

③80.43 ④80.06

緊急事態措置（延長前）比

①16.9%増

②6.0%増

③5.1%増

④12.9%増

緊急事態措置（延長前）比

①17.2%増

②15.2%増

③13.5%増

④28.2%増



梅田エリア

※エリア人口の指数

緊急事態宣言時（令和2年4月7日「昼間12時～18時」）を100とした指数で表示

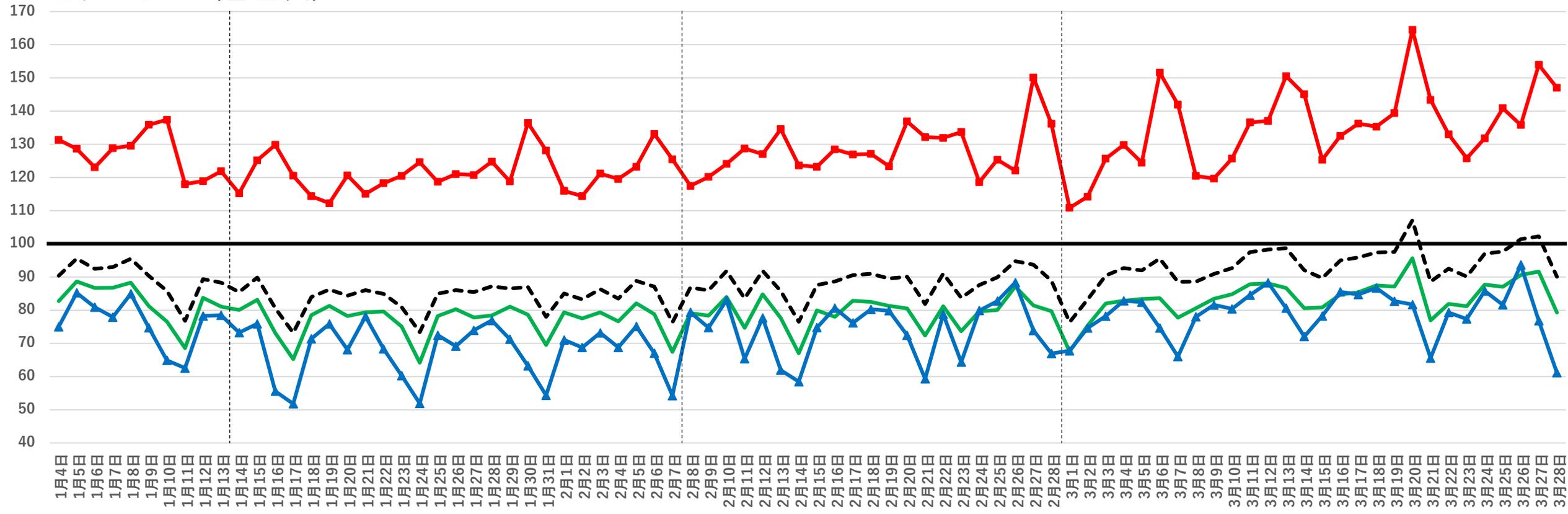
12:00～17:59の間に30分以上の滞在をカウント

【出典：ヤフー・データソリューション】

昼間（12時～18時）における人口増減状況

難波エリア（各世代）

--- 全世代① —■— 30代以下② —■— 40代・50代③ —■— 60代以上④



緊急事態措置（延長前）

(1/14～2/7)

①83.78 ②121.51
③76.92 ④67.60

緊急事態措置（延長後）

(2/8～2/28)

①88.17 ②128.18
③79.33 ④74.24

解除後（時短要請）

(3/1～)

①93.56 ②134.95
③83.65 ④79.04

緊急事態措置（延長前）比	
①5.2%増	②5.5%増
③3.1%増	④9.8%増

緊急事態措置（延長前）比	
①11.7%増	②11.1%増
③8.7%増	④16.9%増

※エリア人口の指数

緊急事態宣言時（令和2年4月7日「昼間12時～18時」）を100とした指数で表示

12:00～17:59の間に30分以上の滞在をカウント

【出典：ヤフー・データソリューション】

【まん延防止等重点措置の実施の考え方】（3/18 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針より抜粋）

都道府県の特定の区域において感染が拡大し、当該都道府県全域に感染が拡大するおそれがあり、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがあると認められる事態が発生していること（特に、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域の状況になっている等）を踏まえ、政府対策本部長が基本的対処方針等諮問委員会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。 <以下略>

【現在の状況】

- ◆ 3月30日現在、政府分科会におけるモニタリング指標のうち、陽性率以外はステージⅢ相当。
- ◆ 病床使用率は増加傾向であり、今後、ステージⅣに相当する可能性がある。

指標（抜粋）		ステージⅢ 目安	ステージⅣ 目安	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	ステージⅢ目 安の状況	ステージⅣ 目安の状況
医療提供 体制等の負荷	最大確保病床の占有率	20%以上	50%以上	34.8%	34.6%	36.8%	38.6%	38.2%	●	○
	重症病床 最大確保病床の占有率	20%以上	50%以上	22.2%	23.7%	23.9%	26.5%	28.0%	●	○
	人口10万人あたり療養者数	15人以上	25人以上	21.03	23.63	26.35	27.96	31.17	●	●
監視体制	陽性率 1週間平均	10%以上		2.0%	2.2%	2.4%	2.5%	2.8%	○	○
感染の状況	週・人口10万人あたり新規報告数	15人以上	25人以上	15.24	17.88	20.41	21.93	24.75	●	○
	直近一週間と先週一週間の比較	1より大きい		1.66	1.87	2.11	2.24	2.27	●	●
	感染経路不明割合 1週間平均	50%以上		57.4%	58.4%	58.4%	58.8%	60.4%	●	●

**新型インフルエンザ等対策特別措置法第31条の4第6項※に基づき、
国に対し、大阪府域に係る「まん延防止等重点措置」の公示を行うよう要請する。**

※新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成二十四年法律第三十一号）

第三十一条の四 政府対策本部長は、新型インフルエンザ等（国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあるものとして政令で定める要件に該当するものに限る。以下この章及び次章において同じ。）が国内で発生し、特定の区域において、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある当該区域における新型インフルエンザ等のまん延を防止するため、新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置を集中的に実施する必要があるものとして政令で定める要件に該当する事態が発生したと認めるときは、当該事態が発生した旨及び次に掲げる事項を公示するものとする。

一 新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置を実施すべき期間

二 新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置を実施すべき区域

三 当該事態の概要

2～5 略

6 都道府県対策本部長は、政府対策本部長に対し、当該都道府県の区域に係る第一項、第三項又は第四項の規定による公示を行うよう要請することができる。

専門家のご意見（専門家会議・朝野座長）

【感染状況】

- ・ 感染状況について、資料 1-1 について特に気づいたことは、
 - 6 ページのデータから、同じく緊急事態宣言を早期に解除した福岡県で増加の傾向にないのは、変異株の関与も可能性として考えられる。
 - 15、16 ページから、これまでと同様 40 歳以下の若い世代が立ち上がっているが、別に集計した 7 日間の移動平均のデータからは、10 代、20 代の立ち上がりが先行していた。
 - 22 ページの夜の街滞在分類別の状況のうち、全体の陽性者の傾向と居酒屋・飲食店はよく相関するパターンを示しているし、最も数も多い。
- ・ 10 代、20 代の若い世代から増加が始まり、現在は幅広い世代に増加の傾向がみられることは、やはり、卒業シーズンや春休みの若者の行動によるものと考えられる。
- ・ その後の 30 代～60 代の増加は、送別会などの多人数の飲食の機会が可能性としては考えられ、居酒屋などの多人数の集まる飲食の場での傾向が全体の陽性者数の傾向と一致するのはそのことを表している可能性が指摘される。
- ・ これまでの経験から今後高齢の世代が増加してくるので、重症者が増加する。
- ・ 昨年状況では、推定感染日による感染者の推移では、3 月の末でピークをむかえていた。
- ・ 対策を立てれば、今年も昨年と同様であれば、4 月の初めまで陽性者が増加傾向を示し、その後減少に転じることが予想される。
- ・ 周囲の変異株の増加は著しく、既に半分を超えている（資料 1-2）実感がある。

【対策】

- ・ 増加の傾向は未だ鈍っていない。ステージ III から IV に向かっており、このままでは確実に IV になる。そのため、緊急事態宣言の発令の前にまん延防止等重点措置の要請を行うことは妥当。
- ・ しかし、単に飲食店の時短の要請のみでは、現状とほとんど変わらず、増加傾向に対するブレーキの効果は乏しいと考えられるため、追加の有効な対策が必須である。
- ・ 対策の要点は感染の拡大防止と、高齢者に感染を広げないことである。
- ・ 感染力を増した変異株の拡大を想定して、時短に加えて感染拡大の収束まで、安全な飲食を行うことが必要。
- ・ 安全な飲食には、パーティション、換気、マスク飲食が対策としては有効。
- ・ パーティション、CO₂ モニターなどの設置の補助が可能なら望ましいと考える。
- ・ マスクに関してはヒトにうつさない感染予防と割り切って、感染対策上正しい装着でなくても、会話するときにはマスクをしてもらう、あるいはハンカチなどで口を覆うなどの対策を習慣とすることが重要。
- ・ 病院の院内感染のみならず高齢者施設や障害者施設への感染拡大を予防する対策が重要。
- ・ 高齢者や障害者施設の検査体制の整備、専門家の派遣などを強化して、クラスター対策を行うように具体的な対策が必要。